

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7156887号
(P7156887)

(45)発行日 令和4年10月19日(2022.10.19)

(24)登録日 令和4年10月11日(2022.10.11)

(51)国際特許分類

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

F I

H 0 4 W	72/04	1 3 2
H 0 4 W	72/04	1 3 7

請求項の数 3 (全34頁)

(21)出願番号 特願2018-181507(P2018-181507)
 (22)出願日 平成30年9月27日(2018.9.27)
 (65)公開番号 特開2020-53851(P2020-53851A)
 (43)公開日 令和2年4月2日(2020.4.2)
 審査請求日 令和3年9月21日(2021.9.21)

(73)特許権者 000005049
 シャープ株式会社
 大阪府堺市堺区匠町1番地
 (74)代理人 100161207
 弁理士 西澤 和純
 100129115
 弁理士 三木 雅夫
 100133569
 弁理士 野村 進
 100131473
 弁理士 覚田 功二
 100160783
 弁理士 堅田 裕之
 518446879
 鴻穎創新有限公司

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 端末装置、基地局装置、および、通信方法

(57)【特許請求の範囲】**【請求項1】**

Physical Downlink Shared Channel (PDSCH) のスケジューリングのために用いられる Downlink Control Information (DCI) フォーマットを含む Physical Downlink Control Channel (PDCCH) をサービングセルのアクティブ下りリンク Band Width Part (BWP) でモニターし、前記 PDSCH を前記アクティブ下りリンク BWP で受信する受信部と、

Hybrid Automatic Repeat request (HARQ-ACK) を Physical Uplink Control Channel (PUCCH) で送信する送信部と、を備え、

前記 DCI フォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドの値 N_{RIV} は、 $L_{RBs} - 1 \geq fLOOR(N_{size_{BWP}} / 2)$ 以下の場合、 $N_{size_{BWP}} * (L_{RBs} - 1) + R_{start}$ と等しく、

前記 N_{RIV} は、 $L_{RBs} - 1 \geq fLOOR(N_{size_{BWP}} / 2)$ より大きい場合、 $N_{size_{BWP}} * (N_{size_{BWP}} - L_{RBs} + 1) + (N_{size_{BWP}} - 1 - R_{start})$ と等しく、

前記 $fLOOR(N_{size_{BWP}} / 2)$ は前記 $N_{size_{BWP}} / 2$ を超えない範囲での最大の整数であり、

前記 R_{start} は、前記 PDSCH の割り当ての先頭のリソースブロックであり、

前記 L_{RBs} は、前記 PDSCH に割り当てられたリソースブロックの数であり、前記 $N_{size_{BWP}}$ は、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されるか否かに基づいて与えられ、

前記 $N_{size_{BWP}}$ は、

前記インデックス 0 の制御リソースセットが設定されず、前記 DCI フォーマットがコモンサーチスペースで検出される場合、第 1 のパラメータによって設定される初期下リンク BWP のリソースブロック数に基づいて与えられ、

前記インデックス 0 の制御リソースセットが前記第 1 のパラメータと異なる第 2 のパラメータによって設定され、前記 DCI フォーマットが前記コモンサーチスペースで検出される場合、前記インデックス 0 の制御リソースセットのリソースブロックの数に基づいて与えられる、

端末装置。

【請求項 2】

Physical Downlink Shared Channel (PDSCH) のスケジューリングのために用いられる Downlink Control Information (DCI) フォーマットを含む Physical Downlink Control Channel (PDCCH) をサービスセルのアクティブ下リンク Band Width Part (BWP) で送信し、前記 PDSCH を前記アクティブ下リンク BWP で送信する送信部と、

Hybrid Automatic Repeat request (HARQ-ACK) を Physical Uplink Control Channel (PUCCH) で受信する受信部と、を備え、

前記 DCI フォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドの値 N_{RIV} は、 $L_{RBs} - 1$ が $\text{floor}(N_{size_{BWP}} / 2)$ 以下の場合、 $N_{size_{BWP}} * (L_{RBs} - 1) + R_{start}$ と等しく、

前記 N_{RIV} は、 $L_{RBs} - 1$ が $\text{floor}(N_{size_{BWP}} / 2)$ より大きい場合、 $N_{size_{BWP}} * (N_{size_{BWP}} - L_{RBs} + 1) + (N_{size_{BWP}} - 1 - R_{start})$ と等しく、

前記 $\text{floor}(N_{size_{BWP}} / 2)$ は前記 $N_{size_{BWP}} / 2$ を超えない範囲での最大の整数であり、

前記 R_{start} は、前記 PDSCH の割り当ての先頭のリソースブロックであり、

前記 L_{RBs} は、前記 PDSCH に割り当てられたリソースブロックの数であり、

前記 $N_{size_{BWP}}$ は、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されるか否かに基づいて与えられ、

前記 $N_{size_{BWP}}$ は、

前記インデックス 0 の制御リソースセットが設定されず、前記 DCI フォーマットがコモンサーチスペースで検出される場合、第 1 のパラメータによって設定される初期下リンク BWP のリソースブロック数に基づいて与えられ、

前記インデックス 0 の制御リソースセットが前記第 1 のパラメータと異なる第 2 のパラメータによって設定され、前記 DCI フォーマットが前記コモンサーチスペースで検出される場合、前記インデックス 0 の制御リソースセットのリソースブロックの数に基づいて与えられる、

基地局装置。

【請求項 3】

端末装置に用いられる通信方法であって、

Physical Downlink Shared Channel (PDSCH) のスケジューリングのために用いられる Downlink Control Information (DCI) フォーマットを含む Physical Downlink Control Channel (PDCCH) をサービスセルのアクティブ下リンク Band Width Part (BWP) でモニターし、

10

20

30

40

50

前記 P D S C H を前記アクティブ下りリンク B W P で受信し、
H y b r i d A u t o m a t i c R e p e a t r e Q u e s t (H A R Q - A C K) を P h y s i c a l U p l i n k C o n t r o l C H a n n e l (P U C C H) で送信し、

前記 D C I フォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドの値 N R I V は、 L _ R B s - 1 が f l o o r (N s i z e _ B W P / 2) 以下の場合、 N s i z e _ B W P * (L _ R B s - 1) + R B s t a r t と等しく、

前記 N R I V は、 L _ R B s - 1 が f l o o r (N s i z e _ B W P / 2) より大きい場合、 N s i z e _ B W P * (N s i z e _ B W P - L _ R B s + 1) + (N s i z e _ B W P - 1 - R B s t a r t) と等しく、

前記 f l o o r (N s i z e _ B W P / 2) は前記 N s i z e _ B W P / 2 を超えない範囲での最大の整数であり、

前記 R B s t a r t は、前記 P D S C H の割り当ての先頭のリソースブロックであり、

前記 L _ R B s は、前記 P D S C H に割り当てられたリソースブロックの数であり、

前記 N s i z e _ B W P は、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されるか否かに基づいて与えられ、

前記 N s i z e _ B W P は、

前記インデックス 0 の制御リソースセットが設定されず、前記 D C I フォーマットがコモンサーチスペースで検出される場合、第 1 のパラメータによって設定される初期下りリンク B W P のリソースブロック数に基づいて与えられ、

前記インデックス 0 の制御リソースセットが前記第 1 のパラメータと異なる第 2 のパラメータによって設定され、前記 D C I フォーマットが前記コモンサーチスペースで検出される場合、前記インデックス 0 の制御リソースセットのリソースブロックの数に基づいて与えられる、

通信方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本発明は、端末装置、基地局装置、および、通信方法に関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

セルラー移動通信の無線アクセス方式および無線ネットワーク（以下、「L o n g T e r m E v o l u t i o n (L T E) 」、または、「E U T R A : E v o l v e d U n i v e r s a l T e r r e s t r i a l R a d i o A c c e s s 」と称する。）が、第三世代パートナーシッププロジェクト（3GPP:3rd Generation Partnership Project）において検討されている。L T Eにおいて、基地局装置はe N o d e B (evolved NodeB) 、端末装置はU E (User Equipment) とも呼称される。L T Eは、基地局装置がカバーするエリアをセル状に複数配置するセルラー通信システムである。単一の基地局装置は複数のサービスングセルを管理してもよい。

【0 0 0 3】

3 G P P では、国際電気通信連合（ITU:International Telecommunication Union）が

策定する次世代移動通信システムの規格であるI M T (International Mobile Telecom munication) 2 0 2 0 に提案するため、次世代規格（NR: New Radio）の検討が行われて

いる（非特許文献 1）。N R は、单一の技術の枠組みにおいて、e M B B (enhanced M obile BroadBand) 、m M T C (massive Machine Type Communication) 、U R L L C (Ultra Reliable and Low Latency Communication) の 3 つのシナリオを想定した要求を満たすことが求められている。

10

20

30

40

50

【先行技術文献】

【非特許文献】

【0004】

【文献】"New SID proposal: Study on New Radio Access Technology", RP-160671, NTT docomo, 3GPP TSG RAN Meeting #71, Goteborg, Sweden, 7th 10th March, 2016.

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明は、効率的に通信を行う端末装置、該端末装置に用いられる通信方法、効率的に通信を行う基地局装置、該基地局装置に用いられる通信方法を提供する。

10

【課題を解決するための手段】

【0006】

(1) 本発明の第1の態様は、端末装置であって、上位層のパラメータを格納するメモリ部と、PDCCHを受信する受信部と、を備え、前記PDCCHに含まれるDCIフォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドは、PDSCHの周波数領域のリソース割り当てを示し、前記周波数領域リソース割り当てフィールドの値は、値 $N_{initial_RB}$ に少なくとも基づき与えられ、前記値 $N_{initial_RB}$ は、前記上位層のパラメータに基づき、インデックス0の制御リソースセットが与えられているか否かに少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられている場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は前記インデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられていない場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられる。

20

【0007】

(2) 本発明の第2の態様は、基地局装置であって、上位層のパラメータを格納するメモリ部と、PDCCHを送信する送信部と、を備え、前記PDCCHに含まれるDCIフォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドは、PDSCHの周波数領域のリソース割り当てを示し、前記周波数領域リソース割り当てフィールドの値は、値 $N_{initial_RB}$ に少なくとも基づき与えられ、前記値 $N_{initial_RB}$ は、前記上位層のパラメータに基づき、インデックス0の制御リソースセットが与えられているか否かに少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられている場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は前記インデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられていない場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられる。

30

【0008】

(3) 本発明の第3の態様は、端末装置に用いられる通信方法であって、上位層のパラメータを格納するステップと、PDCCHを受信するステップと、を備え、前記PDCCHに含まれるDCIフォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドは、PDSCHの周波数領域のリソース割り当てを示し、前記周波数領域リソース割り当てフィールドの値は、値 $N_{initial_RB}$ に少なくとも基づき与えられ、前記値 $N_{initial_RB}$ は、前記上位層のパラメータに基づき、インデックス0の制御リソースセットが与えられているか否かに少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられている場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は前記インデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられていない場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられる。

40

【0009】

(4) 本発明の第4の態様は、基地局装置に用いられる通信方法であって、上位層のパ

50

ラメータを格納するステップと、P D C C Hを送信するステップと、を備え、前記P D C C Hに含まれるD C Iフォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドは、P D S C Hの周波数領域のリソース割り当てを示し、前記周波数領域リソース割り当てフィールドの値は、値 $N_{initial_RB}$ に少なくとも基づき与えられ、前記値 $N_{initial_RB}$ は、前記上位層のパラメータに基づき、インデックス0の制御リソースセットが与えられているか否かに少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられている場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は前記インデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられていない場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は初期下りリンクB W Pを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられる。

10

【発明の効果】

【0010】

この発明によれば、端末装置は効率的に通信を行うことができる。また、基地局装置は効率的に通信を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本実施形態の一態様に係る無線通信システムの概念図である。

【図2】本実施形態の一態様に係る N^{slot_symbol} 、サブキャリア間隔の設定 μ 、および、C P設定の関係を示す一例である。

【図3】本実施形態の一態様に係るサブフレームにおけるリソースグリッドの一例を示す概略図である。

20

【図4】本実施形態の一態様に係るP U C C HフォーマットとP U C C Hフォーマットの長さ N^{PUCCH_symbol} の関係の一例を示す図である。

【図5】本実施形態の一態様に係る端末装置1の構成を示す概略ブロック図である。

【図6】本実施形態の一態様に係る基地局装置3の構成を示す概略ブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【0012】

以下、本発明の実施形態について説明する。

【0013】

図1は、本実施形態の一態様に係る無線通信システムの概念図である。図1において、無線通信システムは、端末装置1 A ~ 1 C、および基地局装置3を具備する。以下、端末装置1 A ~ 1 Cを端末装置1とも呼称する。

30

【0014】

基地局装置3は、M C G (Master Cell Group)、および、S C G (Secondary Cell Group)の一方または両方を含んで構成されてもよい。M C Gは、少なくともP C e l l (Primary Cell)を含んで構成されるサービングセルのグループである。S C Gは、少なく

ともP S C e l l (Primary Secondary Cell)を含んで構成されるサービングセルのグループである。P C e l lは、初期接続に基づき与えられるサービングセルであってもよい。M C Gは、1または複数のS C e l l (Secondary Cell)を含んで構成されてもよい。S C Gは、1または複数のS C e l lを含んで構成されてもよい。P C e l lは、プライマリセルとも呼称される。P S C e l lは、プライマリセカンダリセルとも呼称される。S C e l lは、セカンダリセルとも呼称される。

40

【0015】

M C Gは、E U T R A上のサービングセルで構成されてもよい。S C Gは、次世代規格(NR: New Radio)上のサービングセルで構成されてもよい。

【0016】

以下、フレーム構成について説明する。

【0017】

本実施形態の一態様に係る無線通信システムにおいて、O F D M (Orthogonal Frequ

50

ency Division Multiplex) が少なくとも用いられる。OFDMシンボルは、OFDMの時間領域の単位である。OFDMシンボルは、少なくとも1または複数のサブキャリア(subcarrier)を含む。OFDMシンボルは、ベースバンド信号生成において時間連続信号(time continuous signal)に変換される。下りリンクにおいて、CP-OFDM(Cyclic Prefix Orthogonal Frequency Division Multiplex)が少なくとも用いられる。上りリンクにおいて、CP-OFDM、または、DFT-s-OFDM(Discrete Fourier Transform spread Orthogonal Frequency Division Multiplex)のいずれかが用いられる。DFT-s-OFDMは、CP-OFDMに対して変形プレコーディング(Transform precoding)が適用されることで与えられてもよい。

【0018】

サブキャリア間隔(SCS: SubCarrier Spacing)は、サブキャリア間隔 $f = 2^\mu \cdot 15\text{ kHz}$ によって与えられてもよい。例えば、サブキャリア間隔の設定(subcarrier spacing configuration) μ は0、1、2、3、4、および/または、5のいずれかに設定されてもよい。あるBWP(BandWidth Part)のために、サブキャリア間隔の設定 μ が上位層のパラメータにより与えられてもよい。

【0019】

本実施形態の一態様に係る無線通信システムにおいて、時間領域の長さの表現のために時間単位(タイムユニット) T_c が用いられる。時間単位 T_c は、 $T_c = 1 / (f_{max} \cdot N_f)$ で与えられてもよい。 f_{max} は、本実施形態の一態様に係る無線通信システムにおいてサポートされるサブキャリア間隔の最大値であってもよい。 f_{max} は、 $f_{max} = 480\text{ kHz}$ であってもよい。 N_f は、 $N_f = 4096$ であってもよい。定数 α は、 $\alpha = f_{max} \cdot N_f / (f_{ref} N_{f,ref}) = 64$ である。 f_{ref} は、 15 kHz であってもよい。 $N_{f,ref}$ は、 2048 であってもよい。

【0020】

定数 β は、参照サブキャリア間隔と T_c の関係を示す値であってもよい。定数 β はサブフレームの長さのために用いられてもよい。定数 β に少なくとも基づき、サブフレームに含まれるスロットの数が与えられてもよい。 f_{ref} は、参照サブキャリア間隔であり、 $N_{f,ref}$ は、参照サブキャリア間隔に対応する値である。

【0021】

下りリンクにおける信号の送信、および/または、上りリンクにおける信号の送信は、 10 ms のフレームにより構成される。フレームは、10個のサブフレームを含んで構成される。サブフレームの長さは 1 ms である。フレームの長さは、サブキャリア間隔 f に関わらず与えられてもよい。つまり、フレームの設定は μ に関わらず与えられてもよい。サブフレームの長さは、サブキャリア間隔 f に関わらず与えられてもよい。つまり、サブフレームの設定は μ に関わらず与えられてもよい。

【0022】

あるサブキャリア間隔の設定 μ のために、サブフレームに含まれるスロットの数とインデックスが与えられてもよい。例えば、スロット番号 n^{μ_s} は、サブフレームにおいて0から $N_{subframe,\mu_s slot - 1}$ の範囲で昇順に与えられてもよい。サブキャリア間隔の設定 μ のために、フレームに含まれるスロットの数とインデックスが与えられてもよい。また、スロット番号 $n^{\mu_s,f}$ は、フレームにおいて0から $N_{frame,\mu_s slot - 1}$ の範囲で昇順に与えられてもよい。連続する $N_{slot,symb}$ 個のOFDMシンボルが1つのスロットに含まれてもよい。 $N_{slot,symb}$ は、および/または、CP(Cyclic Prefix)設定の一部または全部に少なくとも基づき与えられてもよい。C

P 設定は、上位層のパラメータに少なくとも基づき与えられてもよい。CP 設定は、専用 RRC シグナリングに少なくとも基づき与えられてもよい。スロット番号は、スロットインデックスとも呼称される。

【0023】

図2は、本実施形態の一態様に係る $N_{slot,symb}$ 、サブキャリア間隔の設定 μ 、および、CP 設定の関係を示す一例である。図2Aにおいて、例えば、サブキャリア間隔の

10

20

30

40

50

設定 μ が 2 であり、CP 設定がノーマル CP (normal cyclic prefix) である場合、 $N^{slot}_{symbol} = 14$ 、 $N^{frame}_{subframe}, \mu_{slot} = 40$ 、 $N^{subframe}_{subframe}, \mu_{slot} = 4$ である。また、図 2Bにおいて、例えば、サブキャリア間隔の設定 μ が 2 であり、CP 設定が拡張 CP (extended cyclic prefix) である場合、 $N^{slot}_{symbol} = 12$ 、 $N^{frame}_{subframe}, \mu_{slot} = 40$ 、 $N^{subframe}_{subframe}, \mu_{slot} = 4$ である。

【0024】

以下、物理リソースについて説明を行う。

【0025】

アンテナポートは、1つのアンテナポートにおいてシンボルが伝達されるチャネルが、同一のアンテナポートにおいてその他のシンボルが伝達されるチャネルから推定できることによって定義される。1つのアンテナポートにおいてシンボルが伝達されるチャネルの大規模特性 (large scale property) が、もう一つのアンテナポートにおいてシンボルが伝達されるチャネルから推定できる場合、2つのアンテナポートは QCL (Quasi Co-located) であると呼称される。大規模特性は、チャネルの長区間特性を少なくとも含んでもよい。大規模特性は、遅延拡がり (delay spread)、ドップラー拡がり (Doppler spread)、ドップラーシフト (Doppler shift)、平均利得 (average gain)、平均遅延 (average delay)、および、ビームパラメータ (spatial Rx parameters) の一部または全部を

少なくとも含んでもよい。第1のアンテナポートと第2のアンテナポートがビームパラメータに関して QCL であるとは、第1のアンテナポートに対して受信側が想定する受信ビームと第2のアンテナポートに対して受信側が想定する受信ビームとが同一であることであってもよい。第1のアンテナポートと第2のアンテナポートがビームパラメータに関して QCL であるとは、第1のアンテナポートに対して受信側が想定する送信ビームと第2のアンテナポートに対して受信側が想定する送信ビームとが同一であることであってもよい。端末装置 1 は、1つのアンテナポートにおいてシンボルが伝達されるチャネルの大規模特性が、もう一つのアンテナポートにおいてシンボルが伝達されるチャネルから推定できる場合、2つのアンテナポートは QCL であることが想定されてもよい。2つのアンテナポートが QCL であることは、2つのアンテナポートが QCL であることが想定されることであってもよい。

【0026】

サブキャリア間隔の設定とキャリアのセットのために、 $N^{size}_{subframe}, \mu_{grid}, \times N^{RB}_{sc}$ 個のサブキャリアと $N^{subframe}_{subframe}, \mu_{symbol}$ 個のOFDMシンボルで定義されるリソースグリッドが与えられる。 $N^{size}_{subframe}, \mu_{grid}, \times$ は、キャリア \times のためのサブキャリア間隔の設定 μ のために与えられるリソースブロック数を示してもよい。 $N^{size}_{subframe}, \mu_{grid}, \times$ は、キャリアの帯域幅を示してもよい。 $N^{size}_{subframe}, \mu_{grid}, \times$ は、上位層のパラメータ $CARRIER Bandwidth$ の値に対応してもよい。キャリア \times は下りリンクキャリアまたは上りリンクキャリアのいずれかを示してもよい。つまり、 \times は “DL”、または、“UL” のいずれかであってもよい。 N^{RB}_{sc} は、1つのリソースブロックに含まれるサブキャリア数を示してもよい。 N^{RB}_{sc} は 12 であってもよい。アンテナポート p ごとに、および / または、サブキャリア間隔の設定 μ ごとに、および / または、送信方向 (Transmission direction) の設定ごとに少なくとも 1 つのリソースグリッドが与えられてもよい。送信方向は、少なくとも下りリンク (DL: DownLink) および上りリンク (UL: UpLink) を含む。以下、アンテナポート p 、サブキャリア間隔の設定 μ 、および、送信方向の設定の一部または全部を少なくとも含むパラメータのセットは、第1の無線パラメータセットとも呼称される。つまり、リソースグリッドは、第1の無線パラメータセットごとに 1 つ与えられてもよい。

【0027】

下りリンクにおいて、サービングセルに含まれるキャリアを下りリンクキャリア（または、下りリンクコンポーネントキャリア）と称する。上りリンクにおいて、サービングセルに含まれるキャリアを上りリンクキャリア（上りリンクコンポーネントキャリア）と称

10

20

30

40

50

する。下りリンクコンポーネントキャリア、および、上りリンクコンポーネントキャリアを総称して、コンポーネントキャリア（または、キャリア）と称する。

【0028】

サービスセルのタイプは、PCell、PSCell、および、SCellのいずれかであってもよい。PCellは、初期接続においてSS/PBCHから取得されるセルIDに少なくとも基づき識別されるサービスセルであってもよい。SCellは、キャリアアグリゲーションにおいて用いられるサービスセルであってもよい。SCellは、専用RRCシグナリングに少なくとも基づき与えられるサービスセルであってもよい。

【0029】

第1の無線パラメータセットごとに与えられるリソースグリッドの中の各要素は、リソースエレメントと呼称される。リソースエレメントは周波数領域のインデックス k_{sc} と、時間領域のインデックス l_{sym} により特定される。ある第1の無線パラメータセットのために、リソースエレメントは周波数領域のインデックス k_{sc} と、時間領域のインデックス l_{sym} により特定される。周波数領域のインデックス k_{sc} と時間領域のインデックス l_{sym} により特定されるリソースエレメントは、リソースエレメント(k_{sc}, l_{sym})とも呼称される。周波数領域のインデックス k_{sc} は、0から $N^{\mu_{RB}}N^{RB}_{sc}-1$ のいずれかの値を示す。 $N^{\mu_{RB}}$ はサブキャリア間隔の設定 μ のために与えられるリソースプロック数であってもよい。 $N^{\mu_{RB}}$ は、 N_{size}, μ_{grid}, x であってもよい。 N^{RB}_{sc} は、リソースプロックに含まれるサブキャリア数であり、 $N^{RB}_{sc} = 12$ である。周波数領域のインデックス k_{sc} は、サブキャリアインデックス k_{sc} に対応してもよい。時間領域のインデックス l_{sym} は、OFDMシンボルインデックス l_{sym} に対応してもよい。

10

【0030】

図3は、本実施形態の一態様に係るサブフレームにおけるリソースグリッドの一例を示す概略図である。図3のリソースグリッドにおいて、横軸は時間領域のインデックス l_{sym} であり、縦軸は周波数領域のインデックス k_{sc} である。1つのサブフレームにおいて、リソースグリッドの周波数領域は $N^{\mu_{RB}}N^{RB}_{sc}$ 個のサブキャリアを含む。1つのサブフレームにおいて、リソースグリッドの時間領域は $14 \cdot 2^{\mu}$ 個のOFDMシンボルを含んでもよい。1つのリソースプロックは、 N^{RB}_{sc} 個のサブキャリアを含んで構成される。リソースプロックの時間領域は、1OFDMシンボルに対応してもよい。リソースプロックの時間領域は、14OFDMシンボルに対応してもよい。リソースプロックの時間領域は、1または複数のスロットに対応してもよい。リソースプロックの時間領域は、1つのサブフレームに対応してもよい。

20

20

【0031】

端末装置1は、リソースグリッドのサブセットのみを用いて送受信を行うことが指示されてもよい。リソースグリッドのサブセットは、BWPとも呼称され、BWPは上位層のパラメータ、および/または、DCIの一部または全部に少なくとも基づき与えられてもよい。BWPをキャリアバンドパート(Carrier Bandwidth Part)とも称する。端末装置1は、リソースグリッドのすべてのセットを用いて送受信を行なうことが指示されなくてもよい。端末装置1は、リソースグリッド内の一部の周波数リソースを用いて送受信を行なうことが指示されてもよい。1つのBWPは、周波数領域における複数のリソースプロックから構成されてもよい。1つのBWPは、周波数領域において連続する複数のリソースプロックから構成されてもよい。下りリンクBWPとも呼称される。上りリンクキャリアに対して設定されるBWPは、下りリンクBWPとも呼称される。上りリンクキャリアに対して設定されるBWPは、上りリンクBWPとも呼称される。BWPは、キャリアの帯域のサブセットであってもよい。

30

【0032】

サービスセルのそれぞれに対して1または複数の下りリンクBWPが設定されてもよい。サービスセルのそれぞれに対して1または複数の上りリンクBWPが設定されてもよい。

【0033】

40

50

サービスセルに対して設定される 1 または複数の下りリンク BWP のうち、1つの下りリンク BWP がアクティブ下りリンク BWP に設定されてもよい。下りリンクの BWP スイッチは、1つのアクティブ下りリンク BWP をディアクティベート (deactivate) し、該 1 つのアクティブ下りリンク BWP 以外のインアクティブ下りリンク BWP をアクティベート (activate) するために用いられる。下りリンクの BWP スイッチは、下りリンク制御情報に含まれる BWP フィールドにより制御されてもよい。下りリンクの BWP スイッチは、上位層のパラメータに基づき制御されてもよい。

【 0 0 3 4 】

アクティブ下りリンク BWP において、DL-SCH が受信されてもよい。アクティブ下りリンク BWP において、PDCCH がモニタされてもよい。アクティブ下りリンク BWP において、PDSCH が受信されてもよい。

10

【 0 0 3 5 】

インアクティブ下りリンク BWP において、DL-SCH が受信されない。インアクティブ下りリンク BWP において、PDCCH がモニタされない。インアクティブ下りリンク BWP のための CSI は報告されない。

【 0 0 3 6 】

サービスセルに対して設定される 1 または複数の下りリンク BWP のうち、2つ以上の下りリンク BWP がアクティブ下りリンク BWP に設定されなくてもよい。

【 0 0 3 7 】

サービスセルに対して設定される 1 または複数の上りリンク BWP のうち、1つの上りリンク BWP がアクティブ上りリンク BWP に設定されてもよい。上りリンクの BWP スイッチは、1つのアクティブ上りリンク BWP をディアクティベート (deactivate) し、該 1 つのアクティブ上りリンク BWP 以外のインアクティブ上りリンク BWP をアクティベート (activate) するために用いられる。上りリンクの BWP スイッチは、下りリンク制御情報に含まれる BWP フィールドにより制御されてもよい。上りリンクの BWP スイッチは、上位層のパラメータに基づき制御されてもよい。

20

【 0 0 3 8 】

アクティブ上りリンク BWP において、UL-SCH が送信されてもよい。アクティブ上りリンク BWP において、PUCCH が送信されてもよい。アクティブ上りリンク BWP において、PRACH が送信されてもよい。アクティブ上りリンク BWP において、SRS が送信されてもよい。

30

【 0 0 3 9 】

インアクティブ上りリンク BWP において、UL-SCH が送信されない。インアクティブ上りリンク BWP において、PUCCH が送信されない。インアクティブ上りリンク BWP において、PRACH が送信されない。インアクティブ上りリンク BWP において、SRS が送信されない。

【 0 0 4 0 】

サービスセルに対して設定される 1 または複数の上りリンク BWP のうち、2つ以上の上りリンク BWP がアクティブ上りリンク BWP に設定されなくてもよい。

【 0 0 4 1 】

上位層のパラメータは、上位層の信号に含まれるパラメータである。上位層の信号は、RRC (Radio Resource Control) シグナリングであってもよいし、MAC CE (Medium Access Control Control Element) であってもよい。ここで、上位層の信号は、RR

40

C 層の信号であってもよいし、MAC 層の信号であってもよい。

【 0 0 4 2 】

上位層の信号は、共通 RRC シグナリング (common RRC signaling) であってもよい。共通 RRC シグナリングは、以下の特徴 C1 から特徴 C3 の一部または全部を少なくとも備えてもよい。

特徴 C1) BCCCH ロジカルチャネル、または、CCCH ロジカルチャネルにマップされる

50

特徴 C 2) R e c o n f i g r a t i o n W i t h S y n c 情報要素を少なくとも含む
特徴 C 3) P B C H にマップされる

【 0 0 4 3 】

R e c o n f i g r a t i o n W i t h S y n c 情報要素は、サービングセルにおいて共通に用いられる設定を示す情報を含んでもよい。サービングセルにおいて共通に用いられる設定は、P R A C H の設定を少なくとも含んでもよい。該 P R A C H の設定は、1 または複数のランダムアクセスプリアンブルインデックスを少なくとも示してもよい。該 P R A C H の設定は、P R A C H の時間 / 周波数リソースを少なくとも示してもよい。

【 0 0 4 4 】

共通 R R C シグナリングは、共通 R R C パラメータを少なくとも含んでもよい。共通 R R C パラメータは、サービングセル内において共通に用いられる (Cell-specific) パラメータであってもよい。

【 0 0 4 5 】

上位層の信号は、専用 R R C シグナリング (dedicated RRC signaling) であってもよい。専用 R R C シグナリングは、以下の特徴 D 1 から D 2 の一部または全部を少なくとも備えてもよい。

特徴 D 1) D C C H ロジカルチャネルにマップされる

特徴 D 2) R e c o n f i g r a t i o n W i t h S y n c 情報要素を含まない

【 0 0 4 6 】

例えば、M I B (Master Information Block)、および、S I B (System Information

Block) は共通 R R C シグナリングに含まれてもよい。また、D C C H ロジカルチャネルにマップされ、かつ、R e c o n f i g r a t i o n W i t h S y n c 情報要素を少なくとも含む上位層のメッセージは、共通 R R C シグナリングに含まれてもよい。また、D C C H ロジカルチャネルにマップされ、かつ、R e c o n f i g r a t i o n W i t h S y n c 情報要素を含まない上位層のメッセージは、専用 R R C シグナリングに含まれてもよい。

【 0 0 4 7 】

S I B は、S S (Synchronization Signal) ブロックの時間インデックスを少なくとも示してもよい。S S ブロック (SS block) は、S S / P B C H ブロック (SS/PBCH block

) とも呼称される。S I B は、P R A C H リソースに関連する情報を少なくとも含んでもよい。S I B は、初期接続の設定に関連する情報を少なくとも含んでもよい。

【 0 0 4 8 】

R e c o n f i g r a t i o n W i t h S y n c 情報要素は、P R A C H リソースに関連する情報を少なくとも含んでもよい。R e c o n f i g r a t i o n W i t h S y n c 情報要素は、初期接続の設定に関連する情報を少なくとも含んでもよい。

【 0 0 4 9 】

専用 R R C シグナリングは、専用 R R C パラメータを少なくとも含んでもよい。専用 R R C パラメータは、端末装置 1 に専用に用いられる (UE-specific) パラメータであってもよい。専用 R R C シグナリングは、共通 R R C パラメータを少なくとも含んでもよい。

【 0 0 5 0 】

共通 R R C パラメータおよび専用 R R C パラメータは、上位層のパラメータとも呼称される。

【 0 0 5 1 】

以下、本実施形態の種々の態様に係る物理チャネルおよび物理シグナルを説明する。

【 0 0 5 2 】

上りリンク物理チャネルは、上位層において発生する情報を運ぶリソースエレメントのセットに対応してもよい。上りリンク物理チャネルは、上りリンクキャリアにおいて用いられる物理チャネルである。本実施形態の一態様に係る無線通信システムにおいて、少な

10

20

30

40

50

くとも下記の一部または全部の上りリンク物理チャネルが用いられる。

- ・ P U C C H (Physical Uplink Control Channel)
- ・ P U S C H (Physical Uplink Shared Channel)
- ・ P R A C H (Physical Random Access Channel)

【 0 0 5 3 】

P U C C H は、上りリンク制御情報 (UCI:Uplink Control Information) を送信するために用いられてもよい。上りリンク制御情報は、チャネル状態情報 (CSI:Channel State Information) 、スケジューリングリクエスト (SR:Scheduling Request) 、トランスポートブロック (TB:Transport block , MAC PDU:Medium Access Control Protocol Data Unit , DL-SCH:Downlink-Shared Channel , PDSCH:Physical Downlink Shared Channel) に

対応する H A R Q - A C K (Hybrid Automatic Repeat request ACKnowledgement) 情報

の一部または全部を含む。

【 0 0 5 4 】

P U C C H に上りリンク制御情報が多重されてもよい。該多重された P U C C H は送信されてもよい。

【 0 0 5 5 】

H A R Q - A C K 情報は、トランスポートブロックに対応する H A R Q - A C K ビットを少なくとも含んでもよい。H A R Q - A C K ビットは、トランスポートブロックに対応する A C K (acknowledgement) または N A C K (negative-acknowledgement) を示して

もよい。A C K は、該トランスポートブロックの復号が成功裏に完了していることを示す値であってもよい。N A C K は、該トランスポートブロックの復号が成功裏に完了していないことを示す値であってもよい。H A R Q - A C K 情報は、1 または複数の H A R Q - A C K ビットを含む H A R Q - A C K コードブックを少なくとも 1 つ含んでもよい。H A R Q - A C K ビットが 1 または複数のトランスポートブロックに対応することは、H A R Q - A C K ビットが該 1 または複数のトランスポートブロックを含む P D S C H に対応することであってもよい。

【 0 0 5 6 】

H A R Q - A C K ビットは、トランスポートブロックに含まれる 1 つの C B G (Code Block Group) に対応する A C K または N A C K を示してもよい。H A R Q - A C K は、H A R Q フィードバック、H A R Q 情報、H A R Q 制御情報とも呼称される。

【 0 0 5 7 】

スケジューリングリクエスト (SR: Scheduling Request) は、初期送信のための P U S C H のリソースを要求するために少なくとも用いられてもよい。スケジューリングリクエストビットは、正の S R (positive SR) または、負の S R (negative SR) のいずれかを示すために用いられてもよい。スケジューリングリクエストビットが正の S R を示すことは、“ 正の S R が送信される ” とも呼称される。正の S R は、端末装置 1 によって初期送信のための P U S C H のリソースが要求されることを示してもよい。正の S R は、上位層によりスケジューリングリクエストがトリガされることを示してもよい。正の S R は、上位層によりスケジューリングリクエストを送信することが指示された場合に、送信されてもよい。スケジューリングリクエストビットが負の S R を示すことは、“ 負の S R が送信される ” とも呼称される。負の S R は、端末装置 1 によって初期送信のための P U S C H のリソースが要求されないことを示してもよい。負の S R は、上位層によりスケジューリングリクエストがトリガされないことを示してもよい。負の S R は、上位層によりスケジューリングリクエストを送信することが指示されない場合に、送信されてもよい。

【 0 0 5 8 】

スケジューリングリクエストビットは、1 または複数の S R 設定 (SR configuration) のいずれかに対する正の S R 、または、負の S R のいずれかを示すために用いられても

10

20

30

40

50

よい。該 1 または複数の S R 設定のそれぞれは、1 または複数のロジカルチャネルに対応してもよい。ある S R 設定に対する正の S R は、該ある S R 設定に対応する 1 または複数のロジカルチャネルのいずれかまたは全部に対する正の S R であってもよい。負の S R は、特定の S R 設定に対応しなくてもよい。負の S R が示されることは、全ての S R 設定に対して負の S R が示されることであってもよい。

【 0 0 5 9 】

S R 設定は、スケジューリングリクエスト I D (Scheduling Request ID) であってもよい。スケジューリングリクエスト I D は、上位層のパラメータにより与えられてもよい。

【 0 0 6 0 】

チャネル状態情報は、チャネル品質指標 (CQI: Channel Quality Indicator)、プレコーダ行列指標 (PMI: Precoder Matrix Indicator)、および、ランク指標 (RI: Rank Indicator) の一部または全部を少なくとも含んでもよい。C Q I は、チャネルの品質 (例え

10

ば、伝搬強度) に関連する指標であり、P M I は、プレコーダを指示する指標である。R I は、送信ランク (または、送信レイヤ数) を指示する指標である。

【 0 0 6 1 】

チャネル状態情報は、チャネル測定のために少なくとも用いられる物理信号 (例えば、CSI - RS) を受信することに少なくとも基づき与えられてもよい。チャネル状態情報は、端末装置 1 によって選択される値が含まれてもよい。チャネル状態情報は、チャネル測定のために少なくとも用いられる物理信号を受信することに少なくとも基づき、端末装置 1 によって選択されてもよい。チャネル測定は、干渉測定を含む。

20

【 0 0 6 2 】

チャネル状態情報報告は、チャネル状態情報の報告である。チャネル状態情報報告は、CSI パート 1、および / または、CSI パート 2 を含んでもよい。CSI パート 1 は、広帯域チャネル品質情報 (wideband CQI)、広帯域プレコーダ行列指標 (wideband PMI)、ランク指標の一部または全部を少なくとも含んで構成されてもよい。P U C C H に多重される CSI パート 1 のビット数は、チャネル状態情報報告のランク指標の値に関わらず所定の値であってもよい。P U C C H に多重される CSI パート 2 のビット数は、チャネル状態情報報告のランク指標の値に基づき与えられてもよい。チャネル状態情報報告のランク指標は、該チャネル状態情報報告の算出のために用いられるランク指標の値であつて

30

もよい。チャネル状態情報のランク指標は、該チャネル状態情報報告に含まれるランク指標フィールドにより示される値であってもよい。

【 0 0 6 3 】

チャネル状態情報報告において許可されるランク指標のセットは、1 から 8 の一部または全部であってもよい。チャネル状態情報報告において許可されるランク指標のセットは、上位層のパラメータ Rank Restriction に少なくとも基づき与えられてもよい。チャネル状態情報報告において許可されるランク指標のセットが 1 つの値のみを含む場合、該チャネル状態情報報告のランク指標は該 1 つの値であってもよい。

40

【 0 0 6 4 】

チャネル状態情報報告に対して、優先度が設定されてもよい。チャネル状態情報報告の優先度は、該チャネル状態情報報告の時間領域のふるまいに関する設定、該チャネル状態情報報告のコンテンツのタイプ、該チャネル状態情報報告のインデックス、および / または、該チャネル状態情報報告の測定が設定されるサービングセルのインデックスの一部または全部に少なくとも基づき与えられてもよい。

【 0 0 6 5 】

チャネル状態情報報告の時間領域のふるまいに関する設定は、該チャネル状態情報報告が非周期的に (aperiodic) 行われるか、該チャネル状態情報報告が半永続的に (semi-persistent) 行われるか、または、準静的に行われるか、のいずれかを示す設定であってもよい。

50

【 0 0 6 6 】

チャネル状態情報報告のコンテンツのタイプは、該チャネル状態情報報告がレイヤ1のRSRP (Reference Signals Received Power) を含むか否かを示してもよい。

【 0 0 6 7 】

チャネル状態情報報告のインデックスは、上位層のパラメータにより与えられてもよい。

【 0 0 6 8 】

PUCCHは、PUCCHフォーマット (PUCCHフォーマット0からPUCCHフォーマット4) をサポートする。PUCCHフォーマットは、PUCCHで送信されてもよい。PUCCHフォーマットが送信されることとは、PUCCHが送信されることであつてもよい。

10

【 0 0 6 9 】

図4は、本実施形態の一態様に係るPUCCHフォーマットとPUCCHフォーマットの長さ N_{PUCCH_symb} の関係の一例を示す図である。PUCCHフォーマット0の長さ N_{PUCCH_symb} は、1または2OFDMシンボルである。PUCCHフォーマット1の長さ N_{PUCCH_symb} は、4から14OFDMシンボルのいずれかである。PUCCHフォーマット2の長さ N_{PUCCH_symb} は、1または2OFDMシンボルである。PUCCHフォーマット3の長さ N_{PUCCH_symb} は、4から14OFDMシンボルのいずれかである。PUCCHフォーマット4の長さ N_{PUCCH_symb} は、4から14OFDMシンボルのいずれかである。

【 0 0 7 0 】

PUSCHは、トランスポートブロック (TB, MAC PDU, UL-SCH) を送信するために

20

少なくとも用いられる。PUSCHは、トランスポートブロック、HARQ - ACK情報、チャネル状態情報、および、スケジューリングリクエストの一部または全部を少なくとも送信するために用いられてもよい。PUSCHは、ランダムアクセスメッセージ3を送信するために少なくとも用いられる。

【 0 0 7 1 】

PRACHは、ランダムアクセスプリアンブル (ランダムアクセスメッセージ1) を送信するために少なくとも用いられる。PRACHは、初期コネクション確立 (initial connection establishment) プロシージャ、ハンドオーバプロシージャ、コネクション再確立 (connection re-establishment) プロシージャ、PUSCHの送信に対する同期 (タイミング調整)、およびPUSCHのためのリソースの要求の一部または全部を示すために少なくとも用いられてもよい。ランダムアクセスプリアンブルは、端末装置1の上位層より与えられるインデックス (ランダムアクセスプリアンブルインデックス) を基地局装置3に通知するために用いられてもよい。

30

【 0 0 7 2 】

ランダムアクセスプリアンブルは、物理ルートシーケンスインデックス u に対応するZadoff-Chu系列をサイクリックシフトすることによって与えられてもよい。Zadoff-Chu系列は、物理ルートシーケンスインデックス u に基づいて生成されてもよい。1つのサービングセル (serving cell) において、複数のランダムアクセスプリアンブルが定義されてもよい。ランダムアクセスプリアンブルは、ランダムアクセスプリアンブルのインデックスに少なくとも基づき特定されてもよい。ランダムアクセスプリアンブルの異なるインデックスに対応する異なるランダムアクセスプリアンブルは、物理ルートシーケンスインデックス u とサイクリックシフトの異なる組み合わせに対応してもよい。物理ルートシーケンスインデックス u 、および、サイクリックシフトは、システム情報に含まれる情報に少なくとも基づいて与えられてもよい。物理ルートシーケンスインデックス u は、ランダムアクセスプリアンブルに含まれる系列を識別するインデックスであつてもよい。ランダムアクセスプリアンブルは、物理ルートシーケンスインデックス u に少なくとも基づき特定されてもよい。

40

【 0 0 7 3 】

50

図1において、上りリンクの無線通信では、以下の上りリンク物理シグナルが用いられる。上りリンク物理シグナルは、上位層から出力された情報を送信するために使用されなくてよいが、物理層によって使用される。

- ・ U L D M R S (UpLink Demodulation Reference Signal)
- ・ S R S (Sounding Reference Signal)
- ・ U L P T R S (UpLink Phase Tracking Reference Signal)

【 0 0 7 4 】

U L D M R S は、 P U S C H 、および／または、 P U C C H の送信に関連する。 U L D M R S は、 P U S C H または P U C C H と多重される。基地局装置3は、 P U S C H または P U C C H の伝搬路補正を行なうために U L D M R S を使用してよい。以下、 P U S C H と、該 P U S C H に関連する U L D M R S を共に送信することを、単に、 P U S C H を送信する、と称する。以下、 P U C C H と該 P U C C H に関連する U L D M R S を共に送信することを、単に、 P U C C H を送信する、と称する。 P U S C H に関連する U L D M R S は、 P U S C H 用 U L D M R S とも称される。 P U C C H に関連する U L D M R S は、 P U C C H 用 U L D M R S とも称される。

【 0 0 7 5 】

S R S は、 P U S C H または P U C C H の送信に関連しなくてよい。基地局装置3は、チャネル状態の測定のために S R S を用いてよい。 S R S は、上りリンクスロットにおけるサブフレームの最後、または、最後から所定数の O F D M シンボルにおいて送信されてもよい。

【 0 0 7 6 】

U L P T R S は、位相トラッキングのために少なくとも用いられる参照信号であってもよい。 U L P T R S は、1または複数の U L D M R S に用いられるアンテナポートを少なくとも含む U L D M R S グループに関連してもよい。 U L P T R S と U L D M R S グループが関連することは、 U L P T R S のアンテナポートと U L D M R S グループに含まれるアンテナポートの一部または全部が少なくとも Q C L であることであってよい。 U L D M R S グループは、 U L D M R S グループに含まれる U L D M R S において最も小さいインデックスのアンテナポートに少なくとも基づき識別されてもよい。 U L P T R S は、1つのコードワードがマップされる1または複数のアンテナポートにおいて、最もインデックスの小さいアンテナポートにマップされてもよい。 U L P T R S は、1つのコードワードが第1のレイヤ及び第2のレイヤに少なくともマップされる場合に、該第1のレイヤにマップされてもよい。 U L P T R S は、該第2のレイヤにマップされなくてもよい。 U L P T R S がマップされるアンテナポートのインデックスは、下りリンク制御情報に少なくとも基づき与えられてもよい。

【 0 0 7 7 】

図1において、基地局装置3から端末装置1への下りリンクの無線通信では、以下の下りリンク物理チャネルが用いられる。下りリンク物理チャネルは、上位層から出力された情報を送信するために、物理層によって使用される。

- ・ P B C H (Physical Broadcast Channel)
- ・ P D C C H (Physical Downlink Control Channel)
- ・ P D S C H (Physical Downlink Shared Channel)

【 0 0 7 8 】

P B C H は、 M I B 、および／または、 P B C H ペイロードを送信するために少なくとも用いられる。 P B C H ペイロードは、 S S ブロックの送信タイミングに関するインデックスを示す情報を少なくとも含んでもよい。 P B C H ペイロードは、 S S ブロックの識別子（インデックス）に関連する情報を含んでもよい。 P B C H は、所定の送信間隔に基づき送信されてもよい。 P B C H は、 8 0 m s の間隔で送信されてもよい。 P B C H は、 1 6 0 m s の間隔で送信されてもよい。 P B C H に含まれる情報の中身は、 8 0 m s ごとに更新されてもよい。 P B C H に含まれる情報の一部または全部は、 1 6 0 m s ごとに更新されてもよい。 P B C H は、 2 8 8 サブキャリアにより構成されてもよい。 P B C H は、

10

20

30

40

50

2、3、または、4つのOFDMシンボルを含んで構成されてもよい。MIBは、SSブロックの識別子（インデックス）に関連する情報を含んでもよい。MIBは、PBCHが送信されるスロットの番号、サブフレームの番号、および／または、無線フレームの番号の少なくとも一部を指示する情報を含んでもよい。

【0079】

PDCCHは、下りリンク制御情報（DCI:Downlink Control Information）の送信のために少なくとも用いられる。PDCCHは、下りリンク制御情報を少なくとも含んで送信されてもよい。PDCCHは下りリンク制御情報を含んで送信されてもよい。下りリンク制御情報は、DCIフォーマットとも呼称される。下りリンク制御情報は、下りリンクグラント（downlink grant）または上りリンクグラント（uplink grant）のいずれかを少なくとも示してもよい。PDSCHのスケジューリングのために用いられるDCIフォーマットは、下りリンクDCIフォーマットとも呼称される。PUSCHのスケジューリングのために用いられるDCIフォーマットは、上りリンクDCIフォーマットとも呼称される。下りリンクグラントは、下りリンクアサインメント（downlink assignment）または

下りリンク割り当て（downlink allocation）とも呼称される。上りリンクDCIフォーマットは、DCIフォーマット0_0およびDCIフォーマット0_1の一方または両方を少なくとも含む。

【0080】

DCIフォーマット0_0は、1Aから1Fの一部または全部を少なくとも含んで構成される。

1 A) DCIフォーマット特定フィールド (Identifier for DCI formats field)

1 B) 周波数領域リソース割り当てフィールド (Frequency domain resource assignment field)

1 C) 時間領域リソース割り当てフィールド (Time domain resource assignment field)

1 D) 周波数ホッピングフラグフィールド (Frequency hopping flag field)

1 E) MCSフィールド (MCS field: Modulation and Coding Scheme field)

1 F) 第1のCSIリクエストフィールド (First CSI request field)

【0081】

DCIフォーマット特定フィールドは、該DCIフォーマット特定フィールドを含むDCIフォーマットが1または複数のDCIフォーマットのいずれに対応するかを示すために少なくとも用いられてもよい。該1または複数のDCIフォーマットは、DCIフォーマット1_0、DCIフォーマット1_1、DCIフォーマット0_0、および／または、DCIフォーマット0_1の一部または全部に少なくとも基づき与えられてもよい。

【0082】

周波数領域リソース割り当てフィールドは、該周波数領域リソース割り当てフィールドを含むDCIフォーマットによりスケジューリングされるPUSCHのための周波数リソースの割り当てを示すために少なくとも用いられてもよい。周波数領域リソース割り当てフィールドは、FDA (Frequency Domain Resource Allocation) フィールドとも呼称される。

【0083】

時間領域リソース割り当てフィールドは、該時間領域リソース割り当てフィールドを含むDCIフォーマットによりスケジューリングされるPUSCHのための時間リソースの割り当てを示すために少なくとも用いられてもよい。

【0084】

周波数ホッピングフラグフィールドは、該周波数ホッピングフラグフィールドを含むDCIフォーマットによりスケジューリングされるPUSCHに対して周波数ホッピングが適用されるか否かを示すために少なくとも用いられてもよい。

10

20

30

40

50

【 0 0 8 5 】

MCSフィールドは、該MCSフィールドを含むDCIフォーマットによりスケジューリングされるPUSCHのための変調方式、および／または、ターゲット符号化率の一部または全部を示すために少なくとも用いられてもよい。該ターゲット符号化率は、該PUSCHのトランスポートブロックのためのターゲット符号化率であってもよい。該トランスポートブロックのサイズ(TBS: Transport Block Size)は、該ターゲット符号化率に少なくとも基づき与えられてもよい。

【 0 0 8 6 】

第1のCSIリクエストフィールドは、CSIの報告を指示するために少なくとも用いられる。第1のCSIリクエストフィールドのサイズは、所定の値であってもよい。第1のCSIリクエストフィールドのサイズは、0であってもよいし、1であってもよいし、2であってもよいし、3であってもよい。

10

【 0 0 8 7 】

DCIフォーマット0_1は、2Aから2Gの一部または全部を少なくとも含んで構成される。

- 2 A) DCIフォーマット特定フィールド
- 2 B) 周波数領域リソース割り当てフィールド
- 2 C) 時間領域リソース割り当てフィールド
- 2 D) 周波数ホッピングフラグフィールド
- 2 E) MCSフィールド
- 2 F) 第2のCSIリクエストフィールド(Second CSI request field)
- 2 G) BWPフィールド(BWP field)

20

【 0 0 8 8 】

BWPフィールドは、DCIフォーマット0_1によりスケジューリングされるPUSCHがマップされる上りリンクBWPを指示するために用いられてもよい。

【 0 0 8 9 】

第2のCSIリクエストフィールドは、CSIの報告を指示するために少なくとも用いられる。第2のCSIリクエストフィールドのサイズは、上位層のパラメータReport Trigger Sizeに少なくとも基づき与えられてもよい。

30

【 0 0 9 0 】

下りリンクDCIフォーマットは、DCIフォーマット1_0、および、DCIフォーマット1_1の一方または両方を少なくとも含む。

【 0 0 9 1 】

DCIフォーマット1_0は、3Aから3Hの一部または全部を少なくとも含んで構成される。

- 3 A) DCIフォーマット特定フィールド(Identifier for DCI formats field)
- 3 B) 周波数領域リソース割り当てフィールド(Frequency domain resource assignment field)
- 3 C) 時間領域リソース割り当てフィールド(Time domain resource assignment field)
- 3 D) 周波数ホッピングフラグフィールド(Frequency hopping flag field)
- 3 E) MCSフィールド(MCS field: Modulation and Coding Scheme field)
- 3 F) 第1のCSIリクエストフィールド(First CSI request field)
- 3 G) PDSCHからHARQフィードバックへのタイミング指示フィールド(PDSCH to HARQ feedback timing indicator field)
- 3 H) PUCCHリソース指示フィールド(PUCCH resource indicator field)

40

【 0 0 9 2 】

PDSCHからHARQフィードバックへのタイミング指示フィールドは、タイミングK1を示すフィールドであってもよい。PDSCHの最後のOFDMシンボルが含まれる

50

スロットのインデックスがスロット n である場合、該PDSCHに含まれるトランスポートブロックに対応するHARQ-ACKを少なくとも含むPUCCHまたはPUSCHが含まれるスロットのインデックスは $n + K_1$ であってもよい。PDSCHの最後のOFDMシンボルが含まれるスロットのインデックスがスロット n である場合、該PDSCHに含まれるトランスポートブロックに対応するHARQ-ACKを少なくとも含むPUCCHの先頭のOFDMシンボルまたはPUSCHの先頭のOFDMシンボルが含まれるスロットのインデックスは $n + K_1$ であってもよい。

【0093】

PUCCHリソース指示フィールドは、PUCCHリソースセットに含まれる1または複数のPUCCHリソースのインデックスを示すフィールドであってもよい。

10

【0094】

DCIフォーマット1_1は、4Aから4Jの一部または全部を少なくとも含んで構成される。

- 4 A) DCIフォーマット特定フィールド (Identifier for DCI formats field)
- 4 B) 周波数領域リソース割り当てフィールド (Frequency domain resource assignment field)
- 4 C) 時間領域リソース割り当てフィールド (Time domain resource assignment field)
- 4 D) 周波数ホッピングフラグフィールド (Frequency hopping flag field)
- 4 E) MCSフィールド (MCS field: Modulation and Coding Scheme field)
- 4 F) 第1のCSIリスエストフィールド (First CSI request field)
- 4 G) PDSCHからHARQフィードバックへのタイミング指示フィールド (PDSCH to HARQ feedback timing indicator field)
- 4 H) PUCCHリソース指示フィールド (PUCCH resource indicator field)
- 4 J) BWPフィールド (BWP field)

20

【0095】

BWPフィールドは、DCIフォーマット1_1によりスケジューリングされるPDSCHがマップされる下リンクBWPを指示するために用いられてもよい。

30

【0096】

DCIフォーマット2は、PUSCH、または、PUCCHの送信電力制御のために用いられるパラメータを含んでもよい。

【0097】

本実施形態の種々の態様において、特別な記載のない限り、リソースブロックの数は周波数領域におけるリソースブロックの数を示す。

【0098】

1つの物理チャネルは、1つのサービングセルにマップされてもよい。1つの物理チャネルは、1つのサービングセルに含まれる1つのキャリアに設定される1つのキャリアバンドパートにマップされてもよい。

40

【0099】

端末装置1は、1または複数の制御リソースセット (CORESET:Control Resource SET) が与えられる。端末装置1は、1または複数の制御リソースセットにおいてPDCCHを監視 (monitor) する。

【0100】

制御リソースセットは、1つまたは複数のPDCCHがマップされうる時間周波数領域を示してもよい。制御リソースセットは、端末装置1がPDCCHを監視する領域であってもよい。制御リソースセットは、連続的なリソース (Localized resource) により構成されてもよい。制御リソースセットは、非連続的なリソース (distributed resource) により構成されてもよい。

【0101】

50

周波数領域において、制御リソースセットのマッピングの単位はリソースブロックであってもよい。例えば、周波数領域において、制御リソースセットのマッピングの単位は6リソースブロックであってもよい。時間領域において、制御リソースセットのマッピングの単位はOFDMシンボルであってもよい。例えば、時間領域において、制御リソースセットのマッピングの単位は1OFDMシンボルであってもよい。

【0102】

制御リソースセットの周波数領域は、上位層の信号、および／または、下リンク制御情報に少なくとも基づき与えられてもよい。

【0103】

制御リソースセットの時間領域は、上位層の信号、および／または、下リンク制御情報に少なくとも基づき与えられてもよい。

10

【0104】

ある制御リソースセットは、共通制御リソースセット (Common control resource set) であってもよい。共通制御リソースセットは、複数の端末装置1に対して共通に設定される制御リソースセットであってもよい。共通制御リソースセットは、MIB、SIB、共通RRCシグナリング、および、セルIDの一部または全部に少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、SIBのスケジューリングのために用いられるPDCCHをモニタすることが設定される制御リソースセットの時間リソース、および／または、周波数リソースは、MIBに少なくとも基づき与えられてもよい。

20

【0105】

ある制御リソースセットは、専用制御リソースセット (Dedicated control resource set) であってもよい。専用制御リソースセットは、端末装置1のために専用に用いられるように設定される制御リソースセットであってもよい。専用制御リソースセットは、専用RRCシグナリングに少なくとも基づき与えられてもよい。

【0106】

端末装置1によって監視されるPDCCHの候補のセットは、探索領域の観点から定義されてもよい。つまり、端末装置1によって監視されるPDCCH候補のセットは、探索領域によって与えられてもよい。

【0107】

探索領域は、1または複数の集約レベル (Aggregation level) のPDCCH候補を1または複数含んで構成されてもよい。PDCCH候補の集約レベルは、該PDCCHを構成するCCEの個数を示してもよい。

30

【0108】

端末装置1は、DRX (Discontinuous reception) が設定されないスロットにおいて少なくとも1または複数の探索領域を監視してもよい。DRXは、上位層のパラメータに少なくとも基づき与えられてもよい。端末装置1は、DRXが設定されないスロットにおいて少なくとも1または複数の探索領域セット (Search space set) を監視してもよい。

40

【0109】

探索領域セットは、1または複数の探索領域を少なくとも含んで構成されてもよい。探索領域セットのタイプは、タイプ0 PDCCH共通探索領域 (common search space)、タイプ0a PDCCH共通探索領域、タイプ1 PDCCH共通探索領域、タイプ2 PDCCH共通探索領域、タイプ3 PDCCH共通探索領域、および／または、UE個別PDCCH探索領域のいずれかであってもよい。

【0110】

タイプ0 PDCCH共通探索領域、タイプ0a PDCCH共通探索領域、タイプ1 PDCCH共通探索領域、タイプ2 PDCCH共通探索領域、および、タイプ3 PDCCH共通探索領域は、CSS (Common Search Space) とも呼称される。UE個別PDCCH探

索領域は、USS (UE specific Search Space) とも呼称される。

【0111】

50

探索領域セットのそれぞれは、1つの制御リソースセットに関連してもよい。探索領域セットのそれぞれは、1つの制御リソースセットに少なくとも含まれてもよい。探索領域セットのそれぞれに対して、該探索領域セットに関連する制御リソースセットのインデックスが与えられてもよい。

【0112】

タイプ0 P D C C H 共通探索領域は、S I - R N T I (System Information-Radio Network Temporary Identifier) によってスクランブルされたC R C (Cyclic Redundancy Check) 系列を伴うD C I フォーマットのために少なくとも用いられてもよい。タイプ0 P D C C H 共通探索領域の設定は、上位層パラメータP D C C H - C o n f i g S I B 1 のL S B (Least Significant Bits) の4ビットに少なくとも基づき与えられてもよい。上位層パラメータP D C C H - C o n f i g S I B 1 は、M I B に含まれてもよい。タイプ0 P D C C H 共通探索領域の設定は、上位層のパラメータS e a r c h S p a c e Z e r o に少なくとも基づき与えられてもよい。上位層のパラメータS e a r c h S p a c e Z e r o のビットの解釈は、上位層パラメータP D C C H - C o n f i g S I B 1 のL S B の4ビットの解釈と同様であってもよい。タイプ0 P D C C H 共通探索領域の設定は、上位層のパラメータS e a r c h S p a c e S I B 1 に少なくとも基づき与えられてもよい。上位層のパラメータS e a r c h S p a c e S I B 1 は、上位層のパラメータP D C C H - C o n f i g C o m m o n に含まれてもよい。タイプ0 P D C C H 共通探索領域で検出されるP D C C H は、S I B 1 を含んで送信されるP D S C H のスケジューリングのために少なくとも用いられてもよい。S I B 1 は、S I B の一種である。S I B 1 は、S I B 1 以外のS I B のスケジューリング情報を含んでもよい。端末装置1は、E U T R Aにおいて上位層のパラメータP D C C H - C o n f i g C o m m o n を受信してもよい。端末装置1は、M C Gにおいて上位層のパラメータP D C C H - C o n f i g C o m m o n を受信してもよい。

【0113】

タイプ0 a P D C C H 共通探索領域は、S I - R N T I (System Information-Radio Network Temporary Identifier) によってスクランブルされたC R C (Cyclic Redundancy Check) 系列を伴うD C I フォーマットのために少なくとも用いられてもよい。タイプ0 a P D C C H 共通探索領域の設定は、上位層パラメータS e a r c h S p a c e O t h e r S y s t e m I n f o r m a t i o n に少なくとも基づき与えられてもよい。上位層パラメータS e a r c h S p a c e O t h e r S y s t e m I n f o r m a t i o n は、S I B 1 に含まれてもよい。上位層のパラメータS e a r c h S p a c e O t h e r S y s t e m I n f o r m a t i o n は、上位層のパラメータP D C C H - C o n f i g C o m m o n に含まれてもよい。タイプ0 P D C C H 共通探索領域で検出されるP D C C H は、S I B 1 以外のS I B を含んで送信されるP D S C H のスケジューリングのために少なくとも用いられてもよい。

【0114】

タイプ1 P D C C H 共通探索領域は、R A - R N T I (Random Access-Radio Network Temporary Identifier) によってスクランブルされたC R C 系列、および／または、T C - R N T I (Temporary Common-Radio Network Temporary Identifier) によってスクランブルされたC R C 系列を伴うD C I フォーマットのために少なくとも用いられてもよい。R A - R N T I は、端末装置1によって送信されるランダムアクセスプリアンブルの時間／周波数リソースに少なくとも基づき与えられてもよい。T C - R N T I は、R A - R N T I によってスクランブルされたC R C 系列を伴うD C I フォーマットによりスケジューリングされるP D S C H (メッセージ2、または、ランダムアクセスレスポンスとも呼称される) により与えられてもよい。タイプ1 P D C C H 共通探索領域は、上位層のパラメータr a - S e a r c h S p a c e に少なくとも基づき与えられてもよい。上位層のパラメータr a - S e a r c h S p a c e は、S I B 1 に含まれてもよい。上位層のパラメータr a - S e a r c h S p a c e は、S I B 1 に含まれてもよい。

10

20

30

40

50

ータ *ra - Search Space* は、上位層のパラメータ *PDCCH - Config Common* に含まれてもよい。

【0115】

タイプ2 PDCCH 共通探索領域は、P-RNTI (Paging- Radio Network Temporary Identifier) によってスクランブルされた CRC 系列を伴う DCI フォーマットのために用いられてもよい。P-RNTI は、SIB の変更を通知する情報を含む DCI フォーマットの送信のために少なくとも用いられてもよい。タイプ2 PDCCH 共通探索領域は、上位層のパラメータ *Paging Search Space* に少なくとも基づき与えられてもよい。上位層のパラメータ *Paging Search Space* は、SIB1 に含まれてもよい。上位層のパラメータ *Paging Search Space* は、上位層のパラメータ *PDCCH - Config Common* に含まれてもよい。10

【0116】

タイプ3 PDCCH 共通探索領域は、C-RNTI (Cell-Radio Network Temporary Identifier) によってスクランブルされた CRC 系列を伴う DCI フォーマットのために用いられてもよい。C-RNTI は、TC-RNTI によってスクランブルされた CRC 系列を伴う DCI フォーマットによりスケジューリングされる PDSCH (メッセージ4、または、コンテンツレゾリューションとも呼称される) に少なくとも基づき与えられてもよい。タイプ3 PDCCH 共通探索領域は、上位層のパラメータ *Search Space Type* が common にセットされている場合に与えられる探索領域セットであつてもよい。20

【0117】

UE 個別 PDCCH 探索領域は、C-RNTI によってスクランブルされた CRC 系列を伴う DCI フォーマットのために少なくとも用いられてもよい。

【0118】

端末装置1にC-RNTIが与えられた場合、タイプ0 PDCCH 共通探索領域、タイプ0a PDCCH 共通探索領域、タイプ1 PDCCH 共通探索領域、および / または、タイプ2 PDCCH 共通探索領域は、C-RNTI でスクランブルされた CRC 系列を伴う DCI フォーマットのために少なくとも用いられてもよい。

【0119】

端末装置1にC-RNTIが与えられた場合、上位層パラメータ *PDCCH - Config SIB1*、上位層のパラメータ *Search Space Zero*、上位層のパラメータ *Search Spaces SIB1*、上位層のパラメータ *Search Space Other System Information*、上位層のパラメータ *ra - Search Space*、または、上位層パラメータ *Paging Search Space* のいずれかに少なくとも基づき与えられる探索領域セットは、C-RNTI でスクランブルされた CRC 系列を伴う DCI フォーマットのために少なくとも用いられてもよい。30

【0120】

共通制御リソースセットは、CSS および USS の一方または両方を少なくとも含んでもよい。専用制御リソースセットは、CSS および USS の一方または両方を少なくとも含んでもよい。

【0121】

探索領域の物理リソースは制御チャネルの構成単位 (CCE:Control Channel Element) により構成される。CCE は 6 つのリソース要素グループ (REG:Resource Element Group) により構成される。REG は 1 つの PRB (Physical Resource Block) の 1 OFDM

シンボルにより構成されてもよい。つまり、REG は 12 個のリソースエレメント (RE:Resource Element) を含んで構成されてもよい。PRB は、単に RB (Resource Block : リソースブロック) とも呼称される。

【0122】

PDSCH は、トランスポートブロックを送信するために少なくとも用いられる。PD

10

20

30

40

50

SCHは、ランダムアクセスメッセージ2（ランダムアクセスレスポンス）を送信するために少なくとも用いられてもよい。PDSCHは、初期アクセスのために用いられるパラメータを含むシステム情報を送信するために少なくとも用いられてもよい。

【0123】

図1において、下りリンクの無線通信では、以下の下りリンク物理シグナルが用いられる。下りリンク物理シグナルは、上位層から出力された情報を送信するために使用されなくてよいが、物理層によって使用される。

- ・同期信号 (SS:Synchronization signal)
- ・DL_DMR (DownLink DeModulation Reference Signal)
- ・CSI-RS (Channel State Information-Reference Signal)
- ・DL_PTRS (DownLink Phase Tracking Reference Signal)
- ・TRS (Tracking Reference Signal)

【0124】

同期信号は、端末装置1が下りリンクの周波数領域、および/または、時間領域の同期をとるために用いられる。同期信号は、PSS (Primary Synchronization Signal)、および、SSS (Secondary Synchronization Signal) を含む。

【0125】

SSブロック (SS / PBCHブロック) は、PSS、SSS、および、PBCHの一部または全部を少なくとも含んで構成される。SSブロックに含まれるPSS、SSS、および、PBCHの一部または全部のそれぞれのアンテナポートは同一であってもよい。SSブロックに含まれるPSS、SSS、およびPBCHの一部または全部は、連続するOFDMシンボルにマップされてもよい。SSブロックに含まれるPSS、SSS、および、PBCHの一部または全部のそれぞれのCP設定は同一であってもよい。SSブロックに含まれるPSS、SSS、および、PBCHの一部または全部のそれぞれのサブキャリア間隔の設定μは同一であってもよい。

10

【0126】

DL_DMR (DL_DMR) は、PBCH、PDCCCH、および/または、PDSCHの送信に関連する。DL_DMR (DL_DMR) は、PBCH、PDCCCH、および/または、PDSCHに多重される。端末装置1は、PBCH、PDCCCH、または、PDSCHの伝搬路補正を行なうために該PBCH、該PDCCCH、または、該PDSCHと対応するDL_DMR (DL_DMR) を使用してよい。以下、PBCHと、該PBCHと関連するDL_DMR (DL_DMR) が共に送信されることは、PBCHが送信されると呼称される。また、PDCCCHと、該PDCCCHと関連するDL_DMR (DL_DMR) が共に送信されることは、単にPDCCCHが送信されると呼称される。また、PDSCHと、該PDSCHと関連するDL_DMR (DL_DMR) が共に送信されることは、単にPDSCHが送信されると呼称される。PBCHと関連するDL_DMR (DL_DMR) は、PBCH用DL_DMR (DL_DMR) とも呼称される。PDCCCHと関連するDL_DMR (DL_DMR) は、PDCCCH用DL_DMR (DL_DMR) とも呼称される。PDCCCHと関連するDL_DMR (DL_DMR) は、PDCCCHと関連するDL_DMR (DL_DMR) とも呼称される。

20

【0127】

DL_DMR (DL_DMR) は、端末装置1に個別に設定される参照信号であってもよい。DL_DMR (DL_DMR) の系列は、端末装置1に個別に設定されるパラメータに少なくとも基づいて与えられてもよい。DL_DMR (DL_DMR) の系列は、UE固有の値（例えば、C-RNTI等）に少なくとも基づき与えられてもよい。DL_DMR (DL_DMR) は、PDCCCH、および/または、PDSCHのために個別に送信されてもよい。

30

【0128】

CSI-RS (CSI-RS) は、チャネル状態情報を算出するために少なくとも用いられる信号であってもよい。端末装置によって想定されるCSI-RSのパターンは、少なくとも上位層のパラメータにより与えられてもよい。

【0129】

PTRS (PTRS) は、位相雑音の補償のために少なくとも用いられる信号であってもよい。端末

40

50

装置によって想定される PTRS のパターンは、上位層のパラメータ、および / または、DCI に少なくとも基づき与えられてもよい。

【 0 1 3 0 】

DL PTRS は、1 または複数の DL DMRs に用いられるアンテナポートを少なくとも含む DL DMRs グループに関連してもよい。DL PTRS と DL DMRs グループが関連することは、DL PTRS のアンテナポートと DL DMRs グループに含まれるアンテナポートの一部または全部が少なくとも QCL であることであってもよい。DL DMRs グループは、DL DMRs グループに含まれる DL DMRs において最も小さいインデックスのアンテナポートに少なくとも基づき識別されてもよい。

【 0 1 3 1 】

TRS は、時間、および / または、周波数の同期のために少なくとも用いられる信号であってもよい。端末装置によって想定される TRS のパターンは、上位層のパラメータ、および / または、DCI に少なくとも基づき与えられてもよい。

【 0 1 3 2 】

下りリンク物理チャネルおよび下りリンク物理シグナルは、下りリンク信号とも呼称される。上りリンク物理チャネルおよび上りリンク物理シグナルは、上りリンク信号とも呼称される。下りリンク信号および上りリンク信号はまとめて物理信号とも呼称される。下りリンク信号および上りリンク信号はまとめて信号とも呼称される。下りリンク物理チャネルおよび上りリンク物理チャネルを総称して、物理チャネルと称する。下りリンク物理シグナルおよび上りリンク物理シグナルを総称して、物理シグナルと称する。

【 0 1 3 3 】

BCH (Broadcast Channel) 、UL - SCH (Uplink-Shared Channel) および DL - SCH (Downlink-Shared Channel) は、トランスポートチャネルである。媒体アクセス

制御 (MAC:Medium Access Control) 層で用いられるチャネルはトランスポートチャネル

と呼称される。MAC 層で用いられるトランスポートチャネルの単位は、トランスポートブロック (TB) または MAC PDU とも呼称される。MAC 層においてトランスポートブロック毎に HARQ (Hybrid Automatic Repeat reQuest) の制御が行なわれる。トランスポートブロックは、MAC 層が物理層に渡す (deliver) データの単位である。物理層において、トランスポートブロックはコードワードにマップされ、コードワード毎に変調処理が行なわれる。

【 0 1 3 4 】

基地局装置 3 と端末装置 1 は、上位層 (higher layer) において上位層の信号をやり取り (送受信) する。例えば、基地局装置 3 と端末装置 1 は、無線リソース制御 (RRC:Radio Resource Control) 層において、RRC シグナリング (RRC message:Radio Resource Control message, RRC information:Radio Resource Control information) を送受信してもよい。また、基地局装置 3 と端末装置 1 は、MAC 層において、MAC CE (Control Element) を送受信してもよい。ここで、RRC シグナリング、および / または、MA

CCE を、上位層の信号 (higher layer signaling) とも称する。

【 0 1 3 5 】

PUSCH および PDSCH は、RRC シグナリング、および / または、MAC CE を送信するために少なくとも用いられてよい。ここで、基地局装置 3 より PDSCH で送信される RRC シグナリングは、サービングセル内における複数の端末装置 1 に対して共通のシグナリングであってもよい。サービングセル内における複数の端末装置 1 に対して共通のシグナリングは、共通 RRC シグナリングとも呼称される。基地局装置 3 から PDSCH で送信される RRC シグナリングは、ある端末装置 1 に対して専用のシグナリング (dedicated signaling または UE specific signaling とも呼称される) であってもよい。端末装置 1 に対して専用のシグナリングは、専

10

20

30

40

50

用 RRC シグナリングとも呼称される。サービングセルにおいて固有な上位層のパラメータは、サービングセル内における複数の端末装置 1 に対して共通のシグナリング、または、ある端末装置 1 に対して専用のシグナリングを用いて送信されてもよい。UE 固有な上位層のパラメータは、ある端末装置 1 に対して専用のシグナリングを用いて送信されてもよい。

【0136】

BCCCH (Broadcast Control Channel)、CCCH (Common Control Channel)、お

よび、DCCCH (Dedicated Control Channel) は、ロジカルチャネルである。例えば、BCCCH は、MIB を送信するために用いられる上位層のチャネルである。また、CCCH (Common Control Channel) は、複数の端末装置 1 において共通な情報を送信するために用いられる上位層のチャネルである。ここで、CCCH は、例えば、RRC 接続されていない端末装置 1 のために用いられてもよい。また、DCCCH (Dedicated Control Channel) は、端末装置 1 に専用の制御情報 (dedicated control information) を送信するために少なくとも用いられる上位層のチャネルである。ここで、DCCCH は、例えば、RRC 接続されている端末装置 1 のために用いられてもよい。

10

【0137】

ロジカルチャネルにおけるBCCCH は、トランスポートチャネルにおいて BCH、DL-SCH、または、UL-SCH にマップされてもよい。ロジカルチャネルにおけるCCCH は、トランスポートチャネルにおいて DL-SCH または UL-SCH にマップされてもよい。ロジカルチャネルにおけるDCCCH は、トランスポートチャネルにおいて DL-SCH または UL-SCH にマップされてもよい。

20

【0138】

トランスポートチャネルにおけるUL-SCH は、物理チャネルにおいて PUSCH にマップされてもよい。トランスポートチャネルにおけるDL-SCH は、物理チャネルにおいて PDSCCH にマップされてもよい。トランスポートチャネルにおけるBCH は、物理チャネルにおいて PBCH にマップされてもよい。

【0139】

以下、本実施形態の一態様に係る端末装置 1 の構成例を説明する。

【0140】

30

図 5 は、本実施形態の一態様に係る端末装置 1 の構成を示す概略ブロック図である。図示するように、端末装置 1 は、無線送受信部 10、および、上位層処理部 14 を含んで構成される。無線送受信部 10 は、アンテナ部 11、RF (Radio Frequency) 部 12、および、ベースバンド部 13 の一部または全部を少なくとも含んで構成される。上位層処理部 14 は、媒体アクセス制御層処理部 15、および、無線リソース制御層処理部 16 の一部または全部を少なくとも含んで構成される。無線送受信部 10 を送信部、受信部、または、物理層処理部とも称する。

【0141】

上位層処理部 14 は、ユーザーの操作等により生成された上りリンクデータ (トランスポートブロック) を、無線送受信部 10 に出力する。上位層処理部 14 は、MAC 層、パケットデータ統合プロトコル (PDCP:Packet Data Convergence Protocol) 層、無線リンク制御 (RLC:Radio Link Control) 層、RRC 層の処理を行なう。

40

【0142】

上位層処理部 14 が備える媒体アクセス制御層処理部 15 は、MAC 層の処理を行う。

【0143】

上位層処理部 14 が備える無線リソース制御層処理部 16 は、RRC 層の処理を行う。無線リソース制御層処理部 16 は、自装置の各種設定情報 / パラメータの管理をする。無線リソース制御層処理部 16 は、基地局装置 3 から受信した上位層の信号に基づいて各種設定情報 / パラメータをセットする。すなわち、無線リソース制御層処理部 16 は、基地

50

局装置 3 から受信した各種設定情報 / パラメータを示す情報に基づいて各種設定情報 / パラメータをセットする。該パラメータは上位層のパラメータであってもよい。

【 0 1 4 4 】

無線送受信部 1 0 は、変調、復調、符号化、復号化などの物理層の処理を行う。無線送受信部 1 0 は、受信した物理信号を、分離、復調、復号し、復号した情報を上位層処理部 1 4 に出力する。無線送受信部 1 0 は、データを変調、符号化、ベースバンド信号生成（時間連続信号への変換）することによって物理信号を生成し、基地局装置 3 に送信する。

【 0 1 4 5 】

R F 部 1 2 は、アンテナ部 1 1 を介して受信した信号を、直交復調によりベースバンド信号に変換し（ダウンコンバート：down cover t）、不要な周波数成分を除去する。R F 部 1 2 は、処理をしたアナログ信号をベースバンド部に出力する。

10

【 0 1 4 6 】

ベースバンド部 1 3 は、R F 部 1 2 から入力されたアナログ信号をデジタル信号に変換する。ベースバンド部 1 3 は、変換したデジタル信号から C P (Cyclic Prefix) に相当する部分を除去し、C P を除去した信号に対して高速フーリエ変換（FFT:Fast Fourier Transform）を行い、周波数領域の信号を抽出する。

【 0 1 4 7 】

ベースバンド部 1 3 は、データを逆高速フーリエ変換（IFFT:Inverse Fast Fourier Transform）して、O F D M シンボルを生成し、生成されたO F D M シンボルにC P を付加し、ベースバンドのデジタル信号を生成し、ベースバンドのデジタル信号をアナログ信号に変換する。ベースバンド部 1 3 は、変換したアナログ信号を R F 部 1 2 に出力する。

20

【 0 1 4 8 】

R F 部 1 2 は、ローパスフィルタを用いてベースバンド部 1 3 から入力されたアナログ信号から余分な周波数成分を除去し、アナログ信号を搬送波周波数にアップコンバート（up convert）し、アンテナ部 1 1 を介して送信する。また、R F 部 1 2 は、電力を増幅する。また、R F 部 1 2 は送信電力を制御する機能を備えてもよい。R F 部 1 2 を送信電力制御部とも称する。

【 0 1 4 9 】

以下、本実施形態の一態様に係る基地局装置 3 の構成例を説明する。

【 0 1 5 0 】

図 6 は、本実施形態の一態様に係る基地局装置 3 の構成を示す概略ブロック図である。図示するように、基地局装置 3 は、無線送受信部 3 0 、および、上位層処理部 3 4 を含んで構成される。無線送受信部 3 0 は、アンテナ部 3 1 、R F 部 3 2 、および、ベースバンド部 3 3 を含んで構成される。上位層処理部 3 4 は、媒体アクセス制御層処理部 3 5 、および、無線リソース制御層処理部 3 6 を含んで構成される。無線送受信部 3 0 を送信部、受信部、または、物理層処理部とも称する。

30

【 0 1 5 1 】

上位層処理部 3 4 は、M A C 層、P D C P 層、R L C 層、R R C 層の処理を行なう。

【 0 1 5 2 】

上位層処理部 3 4 が備える媒体アクセス制御層処理部 3 5 は、M A C 層の処理を行う。

40

【 0 1 5 3 】

上位層処理部 3 4 が備える無線リソース制御層処理部 3 6 は、R R C 層の処理を行う。無線リソース制御層処理部 3 6 は、P D S C H に配置される下りリンクデータ（トランスポートブロック）、システム情報、R R C メッセージ、M A C _ C E などを生成し、又は上位ノードから取得し、無線送受信部 3 0 に出力する。また、無線リソース制御層処理部 3 6 は、端末装置 1 各々の各種設定情報 / パラメータの管理をする。無線リソース制御層処理部 3 6 は、上位層の信号を介して端末装置 1 各々に対して各種設定情報 / パラメータをセットしてもよい。すなわち、無線リソース制御層処理部 3 6 は、各種設定情報 / パラメータを示す情報を送信 / 報知する。

【 0 1 5 4 】

50

無線送受信部 30 の機能は、無線送受信部 10 と同様であるため説明を省略する。

【0155】

端末装置 1 が備える符号 10 から符号 16 が付された部のそれぞれは、回路として構成されてもよい。基地局装置 3 が備える符号 30 から符号 36 が付された部のそれぞれは、回路として構成されてもよい。端末装置 1 が備える符号 10 から符号 16 が付された部の一部または全部は、メモリと該メモリに接続されるプロセッサとして構成されてもよい。基地局装置 3 が備える符号 30 から符号 36 が付された部の一部または全部は、メモリと該メモリに接続されるプロセッサとして構成されてもよい。本実施形態に係る種々の態様（動作、処理）は、端末装置 1 および / または基地局装置 3 に含まれるメモリおよび該メモリに接続されるプロセッサにおいて実現されて（行われて）もよい。

10

【0156】

以下、種々の態様例を説明する。

【0157】

インデックス 0 の制御リソースセットは、MIB に含まれる情報に少なくとも基づき与えられてもよい。インデックス 0 の制御リソースセットは、MIB に含まれる上位層のパラメータ PDCCH - ConfigSIB1 に少なくとも基づき与えられてもよい。インデックス 0 の制御リソースセットは、MIB に含まれる上位層のパラメータ PDCCH - ConfigSIB1 の MSB (Most Significant Bits) の 4 ビットに少なくとも基づき与えられてもよい。インデックス 0 の制御リソースセットは、上位層のパラメータ ControlResourceSetZero に少なくとも基づき与えられてもよい。インデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数は、MIB に含まれる情報に少なくとも基づき与えられてもよい。インデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数は、MIB に含まれる上位層のパラメータ PDCCH - ConfigSIB1 に少なくとも基づき与えられてもよい。インデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数は、MIB に含まれる上位層のパラメータ PDCCH - ConfigSIB1 の MSB (Most Significant Bits) の 4 ビットに少なくとも基づき与えられてもよい。インデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数は、上位層のパラメータ ControlResourceSetZero に少なくとも基づき与えられてもよい。上位層のパラメータ ControlResourcesetZero は、SIB1 に含まれてもよい。上位層のパラメータ ControlResourceSetZero は、上位層のパラメータ PDCCHConfigCommon に含まれてもよい。上位層のパラメータ ControlResourceSetZero の解釈は、上位層のパラメータ PDCCH - ConfigSIB1 の MSB の 4 ビットの解釈と同様であってもよい。

20

【0158】

初期下りリンク BWP は、SIB1 に含まれる情報に少なくとも基づき与えられてもよい。初期下りリンク BWP は、上位層のパラメータ LocationAndBandwidth に少なくとも基づき与えられてもよい。初期下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数は、SIB1 に含まれる情報に少なくとも基づき与えられてもよい。初期下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数は、上位層のパラメータ LocationAndBandwidth に少なくとも基づき与えられてもよい。上位層のパラメータ LocationAndBandwidth は、SIB1 に含まれてもよい。

30

【0159】

FDR A フィールドの値 NRIV は第 1 の方法に基づき与えられてもよい。第 1 の方法において、NRIV は NsizeBWP に少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、第 1 の方法において、LRBs - 1 floor(NsizeBWP / 2) が満たされる場合に、 $N_{RIV} = N_{sizeBWP} * (LRBs - 1) + RB_{start}$ で与えられてもよい。また、第 1 の方法において、LRBs - 1 floor(NsizeBWP / 2) が満たされない場合に、 $N_{RIV} = N_{sizeBWP} * (N_{sizeBWP} - LRBs + 1) + N_{sizeBWP} - 1 - RB_{start}$ で与えられてもよい。第 1 の方法において、LRBs は Ntarget

40

50

$t_{RB} - RB_{start}$ を超えなくてもよい。

【0160】

$Nsize_{BWP}$ は、 DCI フォーマット、および / または、該 DCI フォーマットが検出される探索領域セットのタイプに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、 CSS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ はインデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、 USS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ はアクティブ下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、 USS において DCI フォーマット 1_1 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ はアクティブ下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。 RB_{start} は、 PDSCH の割り当ての先頭のリソースブロックを示してもよい。 L_{RBs} は、 PDSCH のリソースブロックの割り当ての数（長さ）を示してもよい。

【0161】

$Nsize_{BWP}$ は、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されるか否かに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、インデックス 0 の制御リソースセットが設定され、 CSS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ はインデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されず、 CSS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ は初期下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられてもよい。

【0162】

$Nsize_{BWP}$ は、サービングセルのタイプに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、サービングセルのタイプがプライマリセルであり、 CSS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ はインデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、サービングセルのタイプがプライマリセカンダリセルであり、 CSS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ はインデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、サービングセルのタイプがプライマリセカンダリセルであり、 CSS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ は初期下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、サービングセルのタイプがセカンダリセルであり、 CSS において DCI フォーマット 1_0 が検出される場合、 $Nsize_{BWP}$ は初期下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。

【0163】

ここで、 $\text{floor}(B)$ は、床関数である。 $\text{floor}(B)$ は、 B を超えない範囲で最大の整数を出力する関数であってもよい。

【0164】

F D R A フィールドの値 N_{RIV} は第 2 の方法に基づき与えられてもよい。第 2 の方法において、 N_{RIV} は $N_{initial_{RB}}$ に少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、第 2 の方法において、 $L^2_{RBs} - 1 \leq \text{floor}(N_{initial_{RB}} / 2)$ が満たされる場合に、 $N_{RIV} = N_{initial_{RB}} * (L^2_{RBs} - 1) + RB^2_{start}$ で与えられてもよい。また、第 2 の方法において、 $L^2_{RBs} - 1 > \text{floor}(N_{initial_{RB}} / 2)$ が満たされない場合に、 $N_{RIV} = N_{initial_{RB}} * (N_{initial_{RB}} - L^2_{RBs} + 1) + N_{initial_{RB}} - 1 - RB^2_{start}$ で与えられてもよい。第 2 の方法において、 $L^2_{RBs} = L_{RBs} / K_{RBG}$ で与えられてもよい。第 2 の方法において、 $RB^2_{start} = RB_{start} / K_{RBG}$ で与えられてもよい。第 2 の方法において、 L^2_{RBs} は $Nsize_{RB} - RB^2_{start}$ を超えなくてもよい。

【0165】

第 2 の方法において、 $N_{active_{RB}} > N_{initial_{RB}}$ を満たす場合、 K_{RBG} は、 $K_{RBG} = \text{floor}(N_{active_{RB}} / N_{initial_{RB}})$ を満たす条件における

10

20

30

40

50

、1, 2, 4, 8の中の最大値であってもよい。第2の方法において、 $N_{active_RB} > N_{initial_RB}$ を満たさない場合、 $K_{RBG} = 1$ であってもよい。

【0166】

$N_{initial_RB}$ は、インデックス0の制御リソースセットが設定されるか否かに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、インデックス0の制御リソースセットが設定される場合に、 $N_{initial_RB}$ はインデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、インデックス0の制御リソースセットが設定されない場合に、 $N_{initial_RB}$ は初期下リンクBWPのサイズに少なくとも基づき与えられてもよい。

【0167】

$N_{initial_RB}$ は、サービングセルのタイプに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、サービングセルのタイプがプライマリセルである場合、 $N_{initial_RB}$ はインデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、サービングセルのタイプがプライマリセカンダリセルである場合、 $N_{initial_RB}$ はインデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。また、サービングセルのタイプがセカンダリセルである場合、 $N_{initial_RB}$ は初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。

10

【0168】

N_{active_RB} は、アクティブ下リンクBWPを構成するリソースブロックの数によって与えられてもよい。

【0169】

例えば、DCIフォーマット1_0のサイズが初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に基づき与えられ、かつ、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドがアクティブ下リンクBWPに適用され、かつ、該初期下リンクBWPがアクティブ下リンクBWPである場合、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドの値 N_{RIV} は、第1の方法に基づき与えられてもよい。

【0170】

例えば、DCIフォーマット1_0のサイズが第1のリソースブロックの数に基づき与えられ、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドが、該第1のリソースブロックの数によって構成されるアクティブ下リンクBWPに適用される場合、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドの値 N_{RIV} は、第1の方法に基づき与えられてもよい。

30

【0171】

例えば、DCIフォーマット1_0のサイズが第1の帯域のリソースブロックの数に基づき与えられ、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドが該第1の帯域に適用される場合、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドの値 N_{RIV} は、第1の方法に基づき与えられてもよい。

40

【0172】

例えば、DCIフォーマット1_0がCSSにおいて検出される場合、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドの値 N_{RIV} は、第1の方法に基づき与えられてもよい。

【0173】

例えば、DCIフォーマット1_1において、該DCIフォーマット1_0に含まれるFDR Aフィールドの値 N_{RIV} は、第1の方法に基づき与えられてもよい。

【0174】

例えば、DCIフォーマット1_0のサイズがインデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に基づき与えられる場合、該DCIフォーマット1_0に

50

含まれる F D R A フィールドの値 N_{RIV} は、第 2 の方法に基づき与えられてもよい。

【 0 1 7 5 】

例えば、D C I フォーマット 1_0 のサイズがインデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に基づき与えられ、かつ、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドがアクティブ下りリンク B W P に対して適用される場合、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドの値 N_{RIV} は、第 2 の方法に基づき与えられてもよい。

【 0 1 7 6 】

例えば、D C I フォーマット 1_0 のサイズが初期下りリンク B W P を構成するリソースブロックの数に基づき与えられ、かつ、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドが、アクティブ下りリンク B W P に対して適用され、かつ、該初期下りリンク B W P がアクティブ下りリンク B W P とは異なる場合、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドの値 N_{RIV} は、第 2 の方法に基づき与えられてもよい。

10

【 0 1 7 7 】

例えば、D C I フォーマット 1_0 のサイズが第 1 のリソースブロックの数に基づき与えられ、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドが、第 2 のリソースブロックの数によって構成されるアクティブ下りリンク B W P に適用される場合、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドの値 N_{RIV} は、第 2 の方法に基づき与えられてもよい。ここで、第 1 のリソースブロックの数と第 2 のリソースブロックの数は異なってもよい。

20

【 0 1 7 8 】

例えば、D C I フォーマット 1_0 のサイズが第 1 の帯域のリソースブロックの数に基づき与えられ、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドが第 2 の帯域に適用される場合、該 D C I フォーマット 1_0 に含まれる F D R A フィールドの値 N_{RIV} は、第 2 の方法に基づき与えられてもよい。ここで、第 1 の帯域と第 2 の帯域は異なる帯域であってもよい。第 1 の帯域と第 2 の帯域は異なる B W P によって与えられてもよい。

【 0 1 7 9 】

下りリンク D C I フォーマットに含まれる F D R A フィールドのサイズは、帯域を構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられる。例えば、帯域を構成するリソースブロックの数が N_{RB} である場合、下りリンク D C I フォーマットに含まれる F D R A フィールドのサイズ N_{bit} は、 $N_{bit} = \lceil \log_2(N_{RB}(N_{RB} + 1) / 2) \rceil$ で与えられてもよい。

30

【 0 1 8 0 】

ここで、 $\lceil A \rceil$ は、 A の天井関数である。つまり、 $\lceil A \rceil$ は、 A を下回らない範囲で最小の整数を出力する関数であってもよい。

【 0 1 8 1 】

D C I フォーマット 2 のサイズは、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されているか否かに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されている場合、D C I フォーマット 2 のサイズは、該インデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されている場合、D C I フォーマット 2 のサイズは、C S S においてモニタされる D C I フォーマット（例えば D C I フォーマット 1_0、および / または、D C I フォーマット 0_0）のサイズと等しくなるように与えられてもよい。また、インデックス 0 の制御リソースセットが設定されていない場合、D C I フォーマット 2 のサイズは、初期下りリンク B W P を構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられてもよい。

40

【 0 1 8 2 】

D C I フォーマット 2 のサイズは、サービングセルのタイプに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、プライマリセルにおいて、D C I フォーマット 2 のサイズは、イン

50

デックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられてもよい。また、プライマリセカンダリセルにおいて、DCIフォーマット2のサイズは、初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられてもよい。また、セカンダリセルにおいて、DCIフォーマット2のサイズは、初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられてもよい。

【0183】

DCIフォーマット2のサイズがインデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられることは、該DCIフォーマット2のサイズが、インデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、かつ、CSSにおいてモニタされるDCIフォーマット1_0のサイズ（または、DCIフォーマット0_0のサイズ）と等しいことであってもよい。

10

【0184】

DCIフォーマット2のサイズが初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられることは、該DCIフォーマット2のサイズが、初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、かつ、CSSにおいてモニタされるDCIフォーマット1_0のサイズ（または、DCIフォーマット0_0のサイズ）と等しいことであってもよい。

【0185】

DCIフォーマット2に対して、ビット（例えば、ゼロパディング等）の追加を行うか否かは、インデックス0の制御リソースセットが設定されるか否かに少なくとも基づき与えられてもよい。DCIフォーマット2に対してビットの追加を行うか否かは、サービングセルのタイプに少なくとも基づき与えられてもよい。例えば、プライマリセルにおいて、DCIフォーマット2にビットの追加が行われてもよい。また、プライマリセカンダリセルにおいて、DCIフォーマット2にビットの追加が行われてもよい。また、セカンダリセルにおいて、DCIフォーマット2にビットの追加が行われなくてもよい。

20

【0186】

DCIフォーマット2のサイズが、CSSにおいてモニタされるDCIフォーマット1_0（DCIフォーマット0_0）のサイズより小さい場合、DCIフォーマット2のサイズが該DCIフォーマット1_0（DCIフォーマット0_0）のサイズと等しくなるようにセットされてもよい。

30

【0187】

以下、本実施形態の一態様に係る種々の装置の態様を説明する。

【0188】

(1) 上記の目的を達成するために、本発明の態様は、以下のよう手段を講じた。すなわち、本発明の第1の態様は、端末装置であって、上位層のパラメータを格納するメモリ部と、PDCCHを受信する受信部と、を備え、前記PDCCHに含まれるDCIフォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドは、PDSCHの周波数領域のリソース割り当てを示し、前記周波数領域リソース割り当てフィールドの値は、値 $N_{initialRB}$ に少なくとも基づき与えられ、前記値 $N_{initialRB}$ は、前記上位層のパラメータに基づき、インデックス0の制御リソースセットが与えられているか否かに少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられている場合に、前記値 $N_{initialRB}$ は前記インデックス0の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、前記インデックス0の制御リソースセットが与えられていない場合に、前記値 $N_{initialRB}$ は初期下リンクBWPを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられる。

40

【0189】

(2) また、本発明の第2の態様は、基地局装置であって、上位層のパラメータを格納するメモリ部と、PDCCHを送信する送信部と、を備え、前記PDCCHに含まれるDCIフォーマットに含まれる周波数領域リソース割り当てフィールドは、PDSCHの周波数領域のリソース割り当てを示し、前記周波数領域リソース割り当てフィールドの値は

50

、値 $N_{initial_RB}$ に少なくとも基づき与えられ、前記値 $N_{initial_RB}$ は、前記上位層のパラメータに基づき、インデックス 0 の制御リソースセットが与えられているか否かに少なくとも基づき与えられ、前記インデックス 0 の制御リソースセットが与えられている場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は前記インデックス 0 の制御リソースセットを構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられ、前記インデックス 0 の制御リソースセットが与えられていない場合に、前記値 $N_{initial_RB}$ は初期下りリンク BWP を構成するリソースブロックの数に少なくとも基づき与えられる。

【 0 1 9 0 】

本発明に関わる基地局装置 3、および端末装置 1 で動作するプログラムは、本発明に関わる上記実施形態の機能を実現するように、CPU (Central Processing Unit) 等を制御するプログラム（コンピュータを機能させるプログラム）であっても良い。そして、これら装置で取り扱われる情報は、その処理時に一時的に RAM (Random Access Memory) に蓄積され、その後、Flash ROM (Read Only Memory) などの各種 ROM や HD

D (Hard Disk Drive) に格納され、必要に応じて CPU によって読み出し、修正・書き込みが行われる。

【 0 1 9 1 】

尚、上述した実施形態における端末装置 1、基地局装置 3 の一部、をコンピュータで実現するようにしても良い。その場合、この制御機能を実現するためのプログラムをコンピュータが読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することによって実現しても良い。

【 0 1 9 2 】

尚、ここでいう「コンピュータシステム」とは、端末装置 1、又は基地局装置 3 に内蔵されたコンピュータシステムであって、OS や周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フレキシブルディスク、光磁気ディスク、ROM、CD-ROM 等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。

【 0 1 9 3 】

さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、インターネット等のネットワークや電話回線等の通信回線を介してプログラムを送信する場合の通信線のように、短時間、動的にプログラムを保持するもの、その場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリのように、一定時間プログラムを保持しているものも含んでも良い。また上記プログラムは、前述した機能の一部を実現するためのものであっても良く、さらに前述した機能をコンピュータシステムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるものであっても良い。

【 0 1 9 4 】

また、上述した実施形態における基地局装置 3 は、複数の装置から構成される集合体（装置グループ）として実現することもできる。装置グループを構成する装置の各々は、上述した実施形態に関わる基地局装置 3 の各機能または各機能ブロックの一部、または、全部を備えてもよい。装置グループとして、基地局装置 3 の一通りの各機能または各機能ブロックを有していればよい。また、上述した実施形態に関わる端末装置 1 は、集合体としての基地局装置と通信することも可能である。

【 0 1 9 5 】

また、上述した実施形態における基地局装置 3 は、EUTRAN (Evolved Universal Terrestrial Radio Access Network) および / または NG-RAN (NextGen RAN, NR RAN) であってもよい。また、上述した実施形態における基地局装置 3 は、eNodeB および / または gNB に対する上位ノードの機能の一部または全部を有してもよい。

【 0 1 9 6 】

また、上述した実施形態における端末装置 1、基地局装置 3 の一部、又は全部を典型的

10

20

30

40

50

には集積回路である L S I として実現してもよいし、チップセットとして実現してもよい。端末装置 1、基地局装置 3 の各機能ブロックは個別にチップ化してもよいし、一部、又は全部を集積してチップ化してもよい。また、集積回路化の手法は L S I に限らず専用回路、又は汎用プロセッサで実現しても良い。また、半導体技術の進歩により L S I に代替する集積回路化の技術が出現した場合、当該技術による集積回路を用いることも可能である。

【 0 1 9 7 】

また、上述した実施形態では、通信装置の一例として端末装置を記載したが、本願発明は、これに限定されるものではなく、屋内外に設置される据え置き型、または非可動型の電子機器、たとえば、A V 機器、キッチン機器、掃除・洗濯機器、空調機器、オフィス機器、自動販売機、その他生活機器などの端末装置もしくは通信装置にも適用出来る。

10

【 0 1 9 8 】

以上、この発明の実施形態に関して図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等も含まれる。また、本発明は、請求項に示した範囲で種々の変更が可能であり、異なる実施形態にそれぞれ開示された技術的手段を適宜組み合わせて得られる実施形態についても本発明の技術的範囲に含まれる。また、上記各実施形態に記載された要素であり、同様の効果を奏する要素同士を置換した構成も含まれる。

【 符号の説明 】

【 0 1 9 9 】

20

1 (1 A、1 B、1 C) 端末装置

3 基地局装置

1 0、3 0 無線送受信部

1 1、3 1 アンテナ部

1 2、3 2 R F 部

1 3、3 3 ベースバンド部

1 4、3 4 上位層処理部

1 5、3 5 媒体アクセス制御層処理部

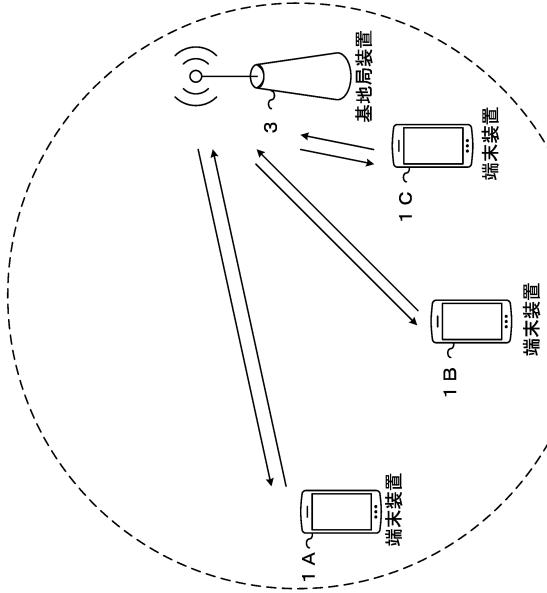
1 6、3 6 無線リソース制御層処理部

30

40

50

【図面】
【図 1】



【図 2】

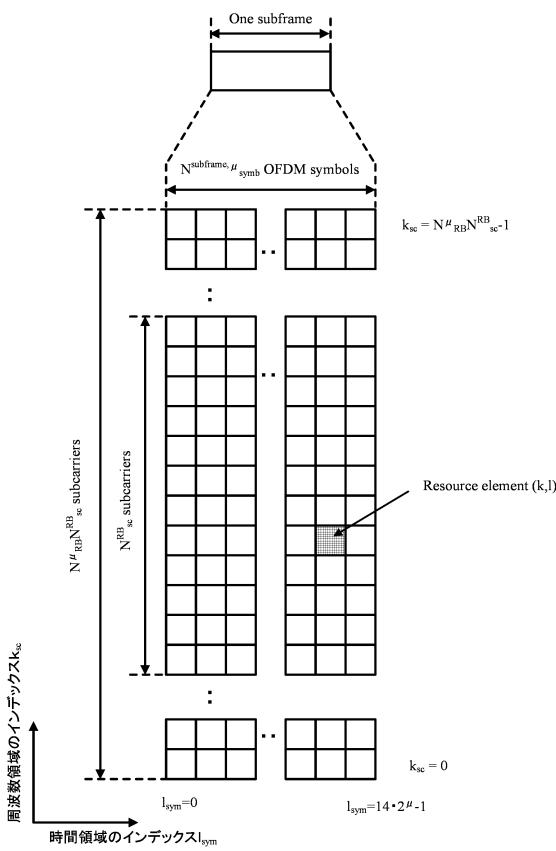
Figure A: Number of OFDM symbols per slot, slots per frame, and slots per subframe for normal cyclic prefix.

μ	$N_{\text{slot}}^{\text{symbol}}$	$N_{\text{slot}}^{\text{frame}, \mu}$	$N_{\text{slot}}^{\text{subframe}, \mu}$
0	14	10	1
1	14	20	2
2	14	40	4
3	14	80	8
4	14	160	16

Figure B: Number of OFDM symbols per slot, slots per frame, and slots per subframe for extended cyclic prefix.

μ	$N_{\text{slot}}^{\text{symbol}}$	$N_{\text{slot}}^{\text{frame}, \mu}$	$N_{\text{slot}}^{\text{subframe}, \mu}$
2	12	40	4

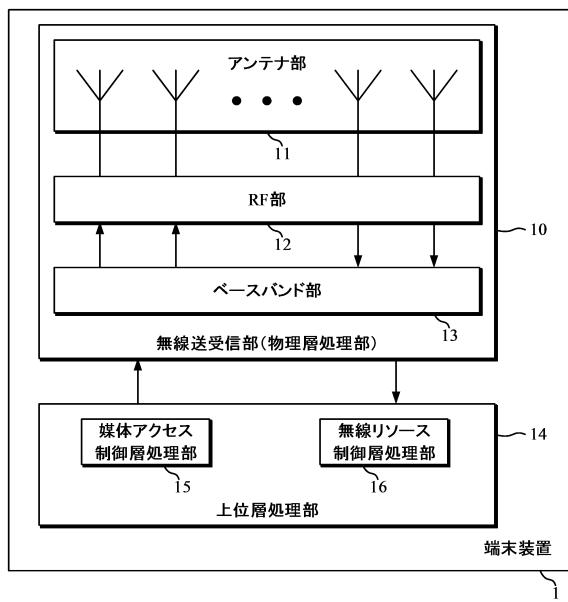
【図 3】



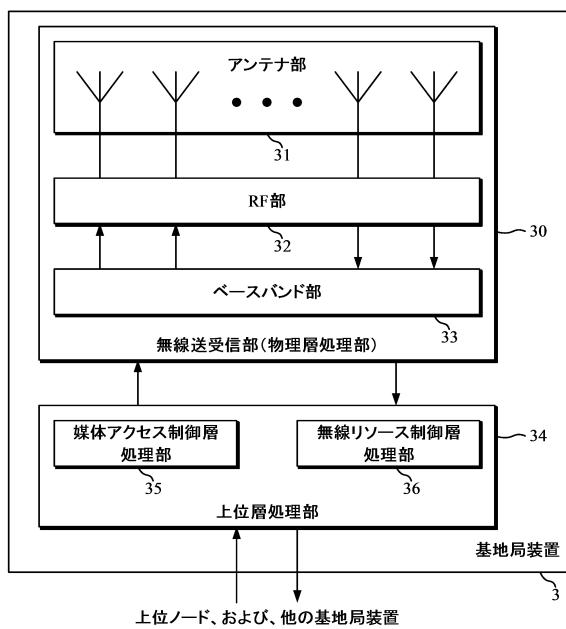
【図 4】

PUCCH format	Length in OFDM symbols N^{PUCCH} symbol
0	1 - 2
1	4 - 14
2	1 - 2
3	4 - 14
4	4 - 14

【図 5】



【図 6】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

FG INNOVATION COMPANY LIMITED
中華人民共和国香港新界屯門海榮路22號屯門中央廣場26樓2623室
Flat 2623, 26/F Tuen Mun Central Square, 22 Hoi Wing Road, Tuen Mun, New Territories, The Hong Kong Special Administrative Region of the People's Republic of China

(74)代理人 100161207
弁理士 西澤 和純
(74)代理人 100129115
弁理士 三木 雅夫
(74)代理人 100133569
弁理士 野村 進
(74)代理人 100131473
弁理士 覚田 功二
(72)発明者 吉村 友樹
大阪府堺市堺区匠町1番地 シャープ株式会社内
(72)発明者 鈴木 翔一
大阪府堺市堺区匠町1番地 シャープ株式会社内
(72)発明者 野上 智造
大阪府堺市堺区匠町1番地 シャープ株式会社内
(72)発明者 大内 渉
大阪府堺市堺区匠町1番地 シャープ株式会社内
(72)発明者 李 泰雨
大阪府堺市堺区匠町1番地 シャープ株式会社内
(72)発明者 林 会発
大阪府堺市堺区匠町1番地 シャープ株式会社内
審査官 望月 章俊
(56)参考文献 MediaTek Inc. , Summary of Bandwidth Part Remaining Issues[online] , 3GPP TSG RAN WG1 #94 R1-1809929 , Internet URL:http://www.3gpp.org/ftp/tsg_ran/WG1_RL1/TSGR1_94/Docs/R1-1809929.zip , 2018年08月23日
3GPP TS38.214 V15.2.0 , 2018年06月29日
(58)調査した分野 (Int.Cl. , D B名)
H 04 W 4 / 00 - H 04 W 99 / 00
H 04 B 7 / 24 - H 04 B 7 / 26
3 G P P T S G R A N W G 1 - 4
S A W G 1 - 4
C T W G 1、 4